

公益社団法人 日本麻酔科学会
男女共同参画推進プロジェクト
(現麻酔科学会DEI推進室)

「男女共同参画に関する麻酔科医に対するアンケート調査」—追加報告

2026年3月

【調査概要】

2020年2月14日から3月15日にかけて実施した結果の追加概要をお知らせします。

調査用紙配布は全麻酔科学会会員13247人に送付し、回答数は953人で回答率は7.2%でした。設問はパート1とパート2に分かれておりパート1は回答者背景(Q1~12)、勤務状況(Q13~45)、gender問題やハラスメント問題(Q46~84)、キャリア継続について(Q61~84)あり、パート2は主に「キャリアに対する子育ての影響に関する調査」の設問66より成ります。

【回答結果の追加報告】

Q16 回答者の勤務先での役職

勤務先で院長、副院長、部長の役職についている方の構成は男性で30%、女性で10.9%でした。年代別では60代男性の88%、女性の48.3%、50代男性の54.4%、女性で39.7%、40代男性の11.8%、女性で6%でした。（図1 表1）

Q18 主な勤務施設の勤務形態

男性の78%、女性の67%が常勤週5日、男性の16%、女性の12%が常勤週4日でした。その他の勤務形態では、男性は非常勤が4% 女性は常勤3日が4%、非常勤などが18%です。年代別では若年層では男女の差は少なかった。40代と60代の女性で非常勤率が上昇する。（図2、図3）

Q28 休職理由について

女性は圧倒的に出産、子育て、配偶者の転勤などだが、男性は留学、自分自身の病気療養であった。休職期間は女性は6～12ヶ月32%、1～2年27%の順に多く、男性は1～6ヶ月26%、2～3年が25%の順であった。男性の休職理由は留学が最も多く、1年以上の長期休職が55%であった。女性は出産育児のための休職が多いため、2年以内が80%（うち、1年以内が60%を占める。）であった。又、年齢が高くなるほど女性は配偶者の転勤に帯同していたことが伺える。（図4、図5、図6）

* 麻酔科を選択した理由

Q36 麻酔科は専門領域として魅力があるから

男性の75%、女性の76%が専門領域としての魅力が重要であったと回答。

年代による大きな偏りもない。20代の男性で「とても重要」が最も多かった。（図7、図8）

Q37 他の医学分野に比べて時間が自由になるから

男性の42%、女性の53%が時間が自由になることが重要であったと回答。女性の方が多い結果であった。

年代別では、男女ともに若年層が重要と考えていた。（図9、図10）

Q38 他の医学分野に較べて昇進が速いから

男女ともに13%が昇進の速さが重要であったと回答。

年代別では、男女ともに若年層が重要と考えていた。（図11、図12）

Q39 他の医学分野に較べて収入が良い

男性の25%、女性の18%が収入が良いことが重要であったと回答。

年代別では、男女ともに若年層ほど重視していた。（図13、図14）

Q40 強く勧めてくれる人がいたから

男性の35%、女性の25%が強く勧めてくれる人の存在が重要であったと回答。

年代別では、20代男性の半数近くが重視していた。（図15、図16）

Q41 家庭との両立がしやすいから

男性の45%、女性の63%が家庭との両立が重要であったと回答。

年代別では、男女ともに20代、30代で顕著であった。（図17、図18）

* 職業的な機会

- Q 49 あなたは、あなたの同僚の男性と比べて、昇進などの職業的な機会は完全に同等だと思いますか。男性の59%が「はい」と回答した一方で、女性の49%が「いいえ」と回答していた。年代別では、50代 60代の女性において「はい」と答える比率が高くなっていた。(図19、図20)
- Q 50 あなたは、あなたの同僚の女性と比べて、昇進などの職業的な機会は完全に同等だと思いますか。男性の45%、女性の44%が「はい」と回答しており性差は見られなかった。(図21、図22)
- Q 51 医学部や病院において同じ地位にある麻酔科医はgenderに関係なく、同等の給与を支給されていると思いますか。男性の72%、女性の62%が「はい」と回答。年代別で見ても男女の傾向は変わらない。(図23、図24)
- Q 52 医学部や病院において同じ地位にある麻酔科医はgenderの偏見のない方法で昇進を与えられていると思いますか。男性の54%、女性の31%が「はい」と回答。年代別では、女性においては年齢が高くなるにつれ「いいえ」が増加していた。(図25、図26)
- Q 53 男性以外の教職員は、男性の同僚に比べて講義や委員会や他の義務的な仕事により多く振り分けられていると思いますか。男女ともに9%が「はい」と回答。男性の71%、女性の57%が「いいえ」と回答。(図27、図28)

Q54 昇進の際、同等の学歴・経験が有るのにもかかわらず、優先的に男性が任命されることが有ると思いますか。
男性の20%、女性の47%が「はい」と回答。
年代別では、60代女性では「はい」と答えた方が80%を超えていた。（図29、図30）

Q55 あなたの職場環境には、性差別主義的な態度や発言が有りますか。
男性の20%、女性の32%が「はい」と回答。
年代別では、30代、40代の女性に「はい」と回答したものが多かった。（図31、図32）

以上が 追加報告です。

【まとめ】

本アンケート調査から「役職登用、勤務形態、昇進・給与に対する考え方の年代及びジェンダー差」や「職場における無意識のバイアスや性差別的な経験」など複数の課題が明らかになりました。

しかし、2019年の本調査から6年が経過しており、現在の麻酔科医師を取り巻く社会的環境の変化が予想されます。

本アンケート調査で示唆されたこれらの課題に対する的確な対応策を検討するため、現在の麻酔科医師の職場環境、意識を確認するアンケート調査を再度行うことが必要と考えます。

Q16 勤務先の役職はどれにあたりますか。

- 院長、副院長、部長を「管理職」と定義し比較した。
- 女性 53名/485名(10.9%) 男性 138名/460名(30%)

性別年齢階級別管理職割合 図1

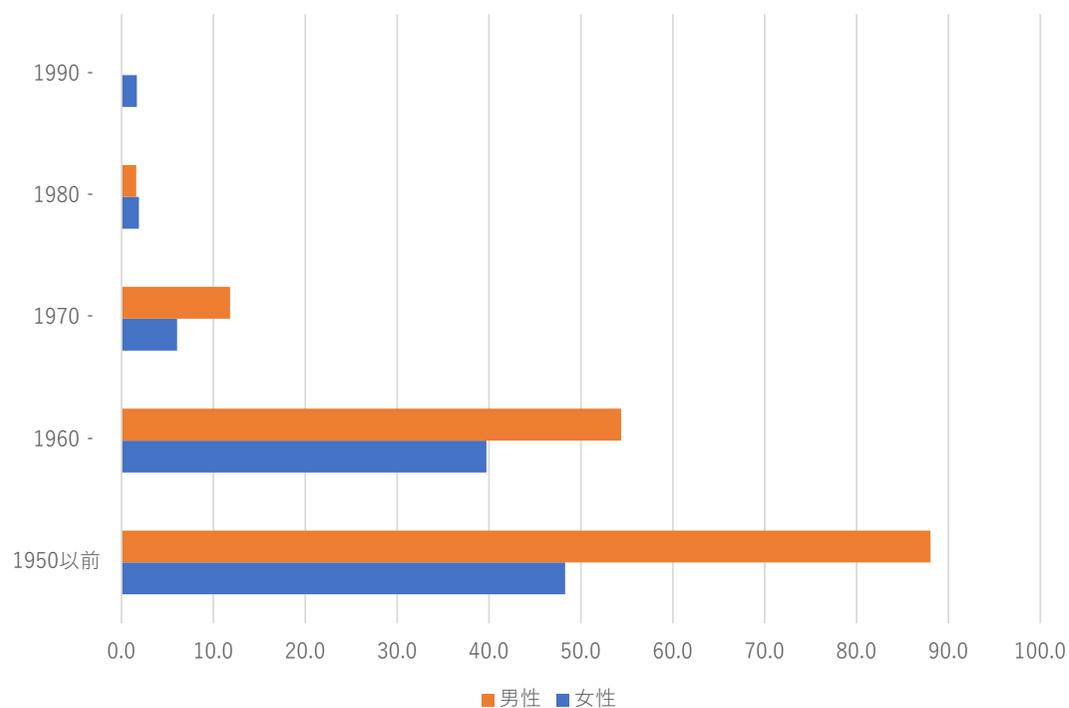


表1

女性

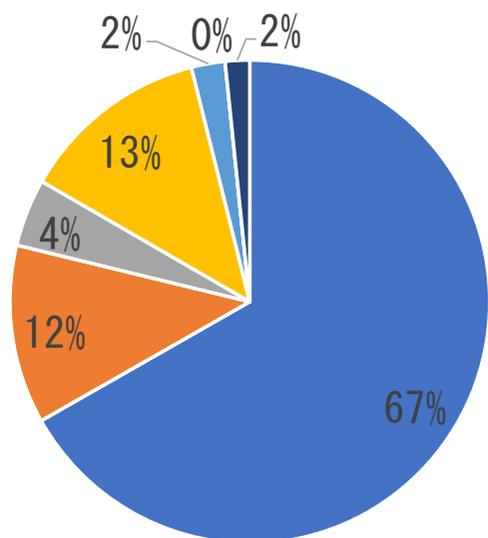
	1950以前	1960 -	1970 -	1980 -	1990 -	合計
全体	29	68	116	212	60	485
管理職	14	27	7	4	1	53
%	48.3	39.7	6.0	1.9	1.7	10.9

男性

	1950以前	1960 -	1970 -	1980 -	1990 -	合計
全体	67	114	127	125	27	460
管理職	59	62	15	2	0	138
%	88.1	54.4	11.8	1.6	0.0	30.0

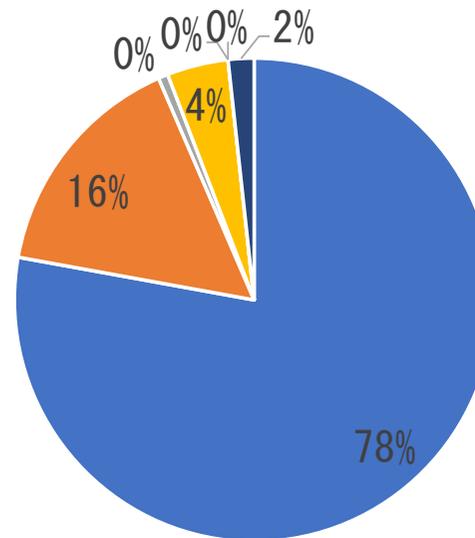
Q18 主な勤務施設での勤務形態は次のどれですか。 図2

女性全体 雇用形態



- 常勤（研究日を含む）週5日勤務
- 常勤（研究日を含む）週4日勤務
- 常勤（研究日を含む）週3日勤務
- 非常勤（嘱託、パート、その他含む）
- 短時間常勤職員
- 都度雇用契約
- その他

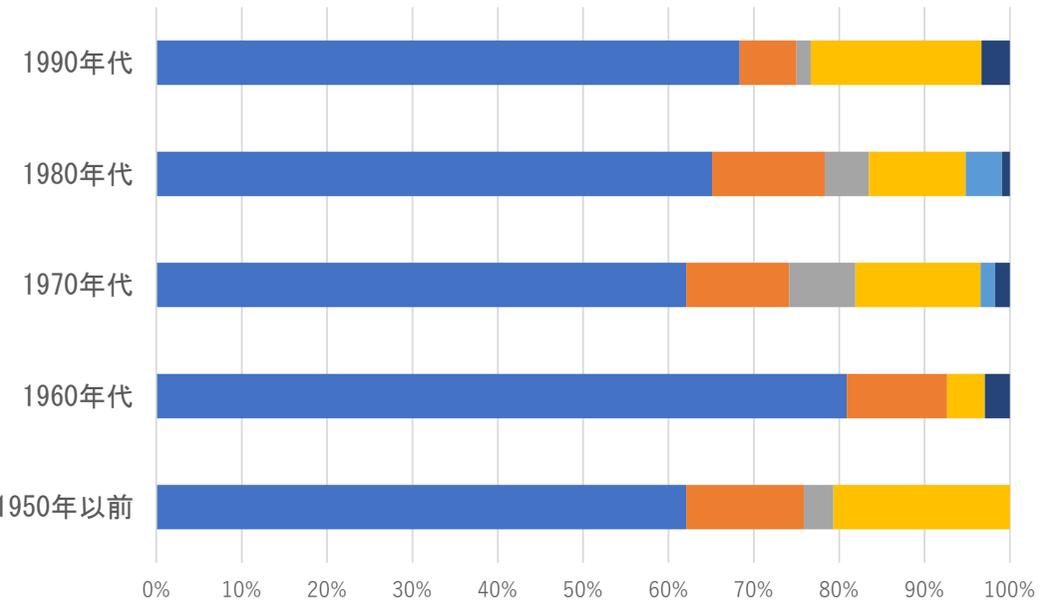
男性全体 雇用形態



- 常勤（研究日を含む）週5日勤務
- 常勤（研究日を含む）週4日勤務
- 常勤（研究日を含む）週3日勤務
- 非常勤（嘱託、パート、その他含む）
- 短時間常勤職員
- 都度雇用契約
- その他

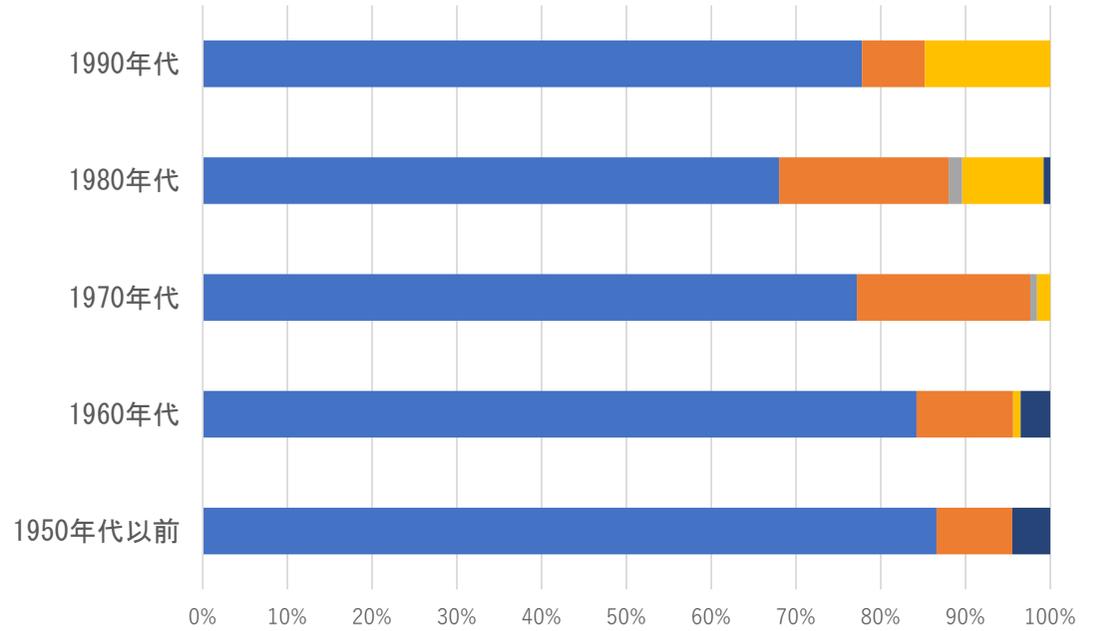
• 性別年齢階級別勤務形態 図3

女性年齢階級別 雇用形態



- 常勤 (研究日を含む) 週5日勤務
- 常勤 (研究日を含む) 週4日勤務
- 常勤 (研究日を含む) 週3日勤務
- 非常勤 (嘱託、パート、その他含む)
- 短時間常勤職員
- 都度雇用契約
- その他

男性年齢階級別 雇用形態



- 常勤 (研究日を含む) 週5日勤務
- 常勤 (研究日を含む) 週4日勤務
- 常勤 (研究日を含む) 週3日勤務
- 非常勤 (嘱託、パート、その他含む)
- 短時間常勤職員
- 都度雇用契約
- その他

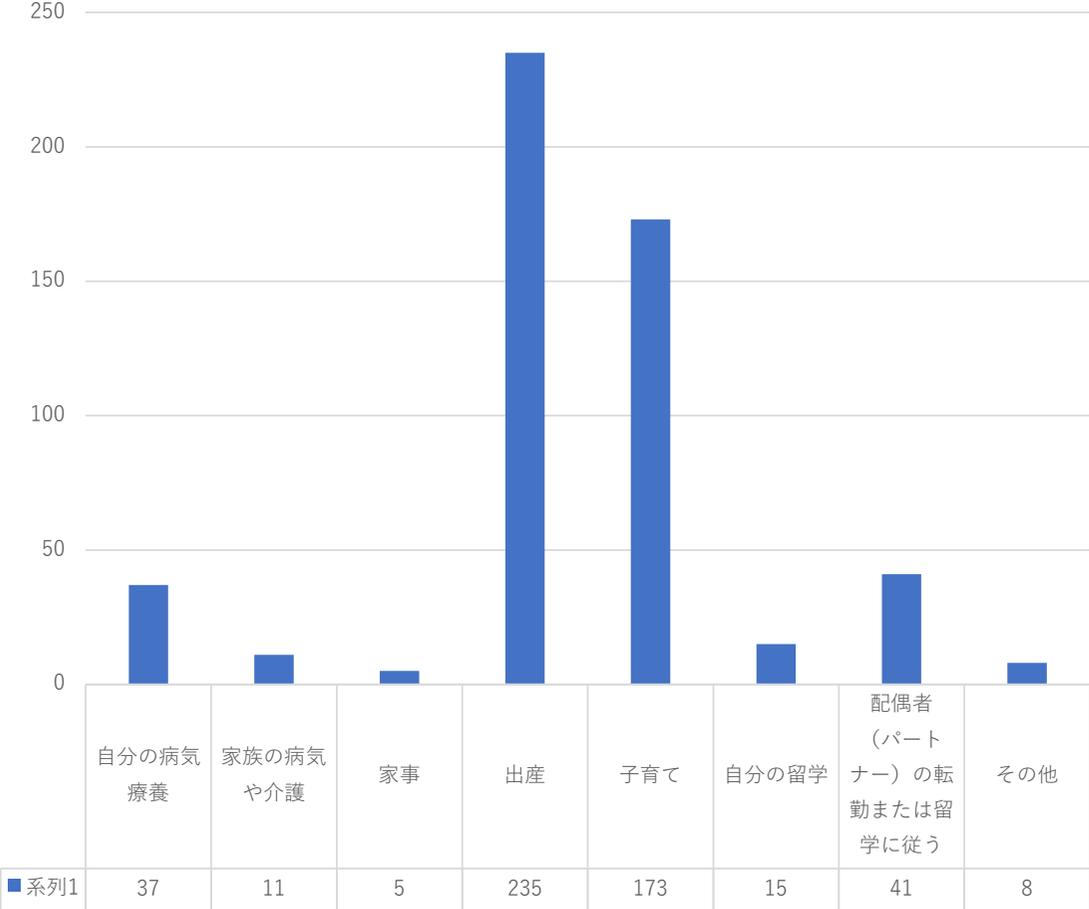
Q19 主な勤務施設での勤務形態で「その他」を選んだ方の理由

- 「その他」を選んだのは男性女性ともに8名ずつ
- 女性
育児休業中 2名、
5.5日以上の勤務が5名、
2か所の病院で5日勤務が1名
- 男性
育児休業中 0名
4.5日勤務 1名
研究日なし5日 1名
5.5日以上勤務が6名

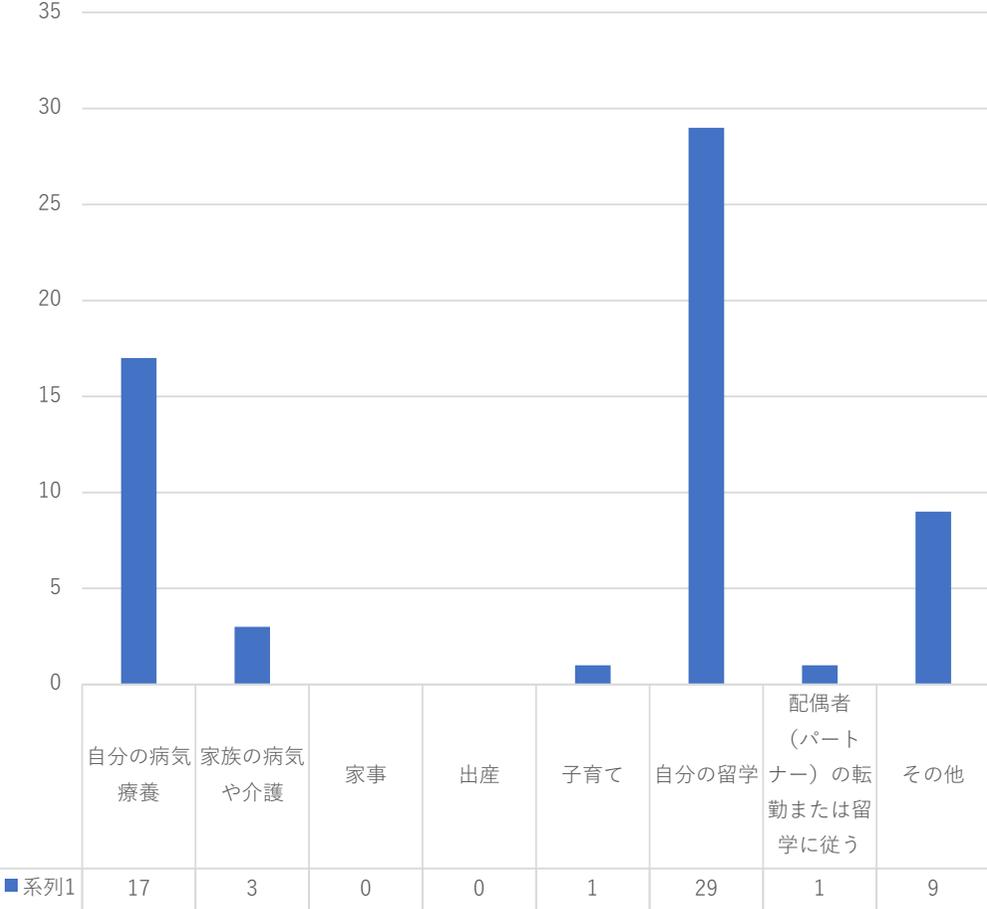
Q28休職理由

図 4

女性 休職理由

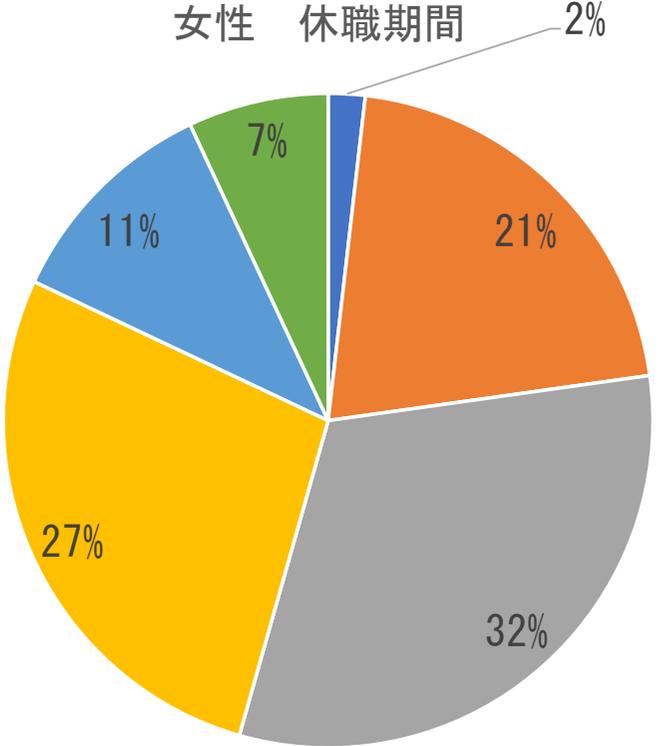


男性 休職理由

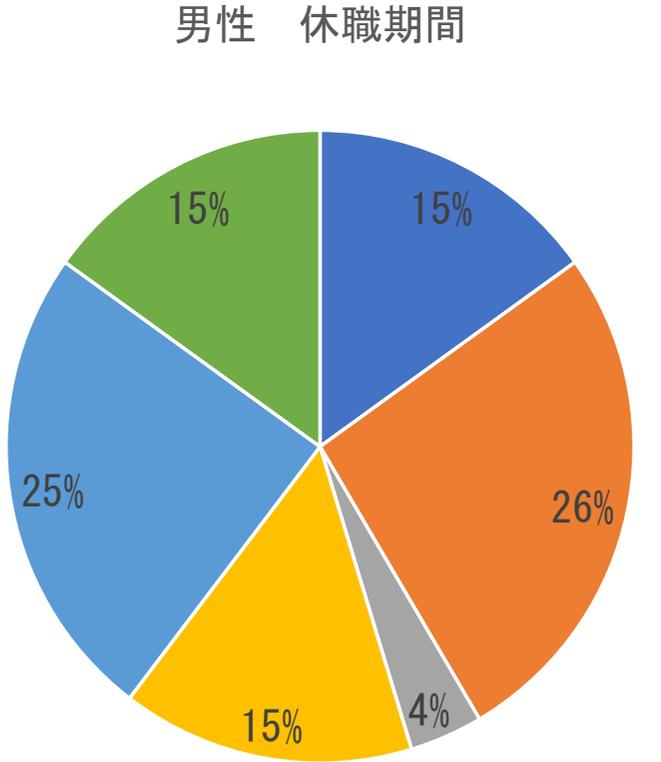


Q28休職期間

図 5

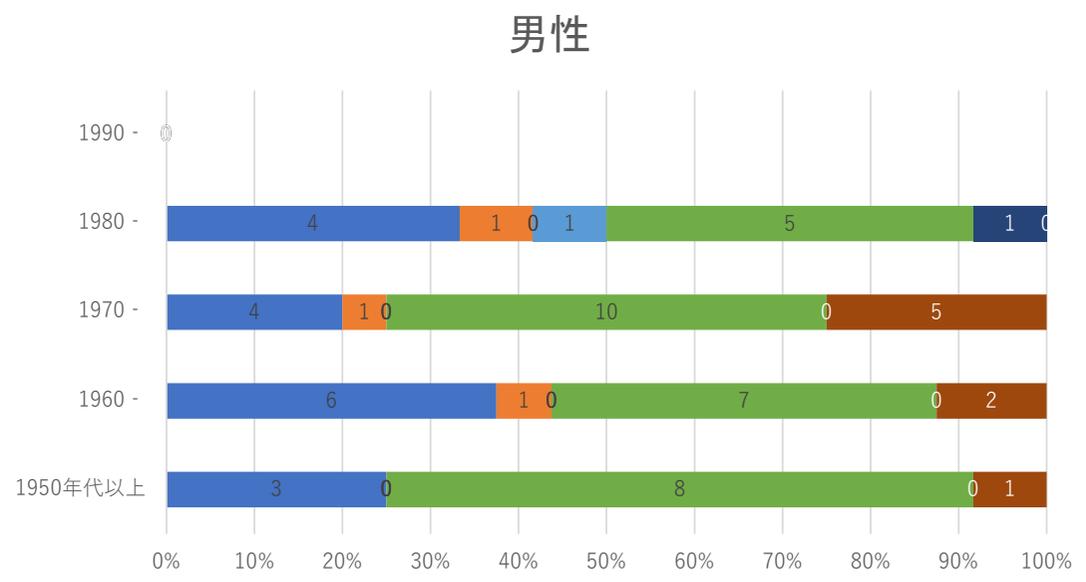
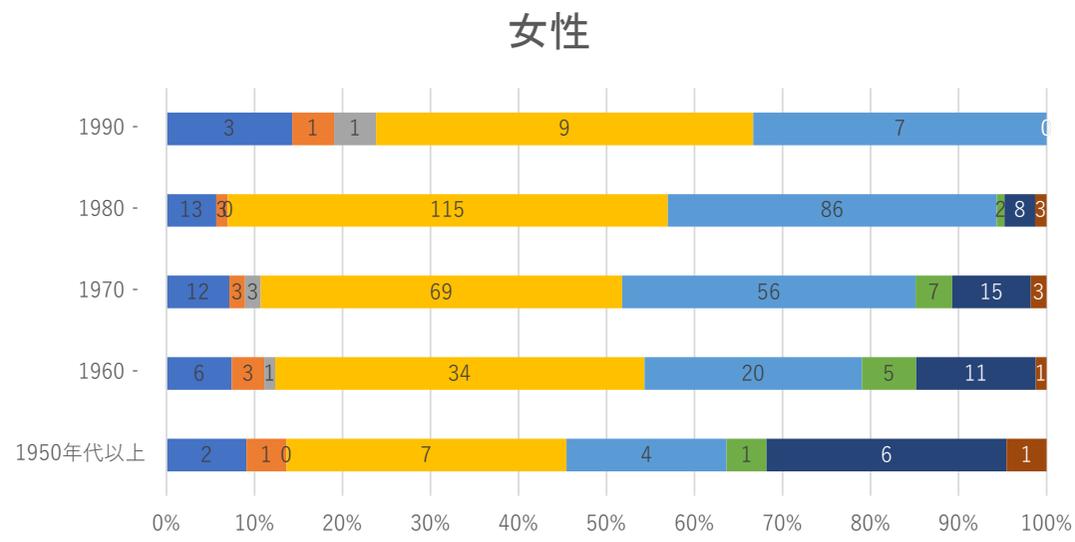


- 1か月未満
- 1-6か月
- 6-12か月
- 1-2年
- 2-3年
- 3年以上



- 1か月未満
- 1-6か月
- 6-12か月
- 1-2年
- 2-3年
- 3年以上

• 性別年齢階級別勤務休職理由 図6

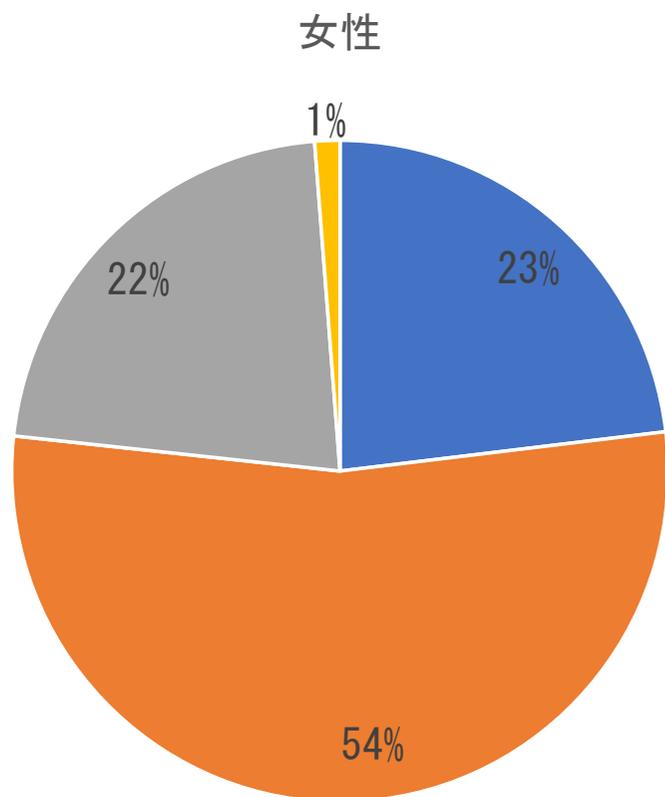


- 自身の病気療養
- 家族の病気や介護
- 家事
- 出産
- 子育て
- 自身の留学
- 配偶者（パートナー）の転勤または留学に従う
- その他

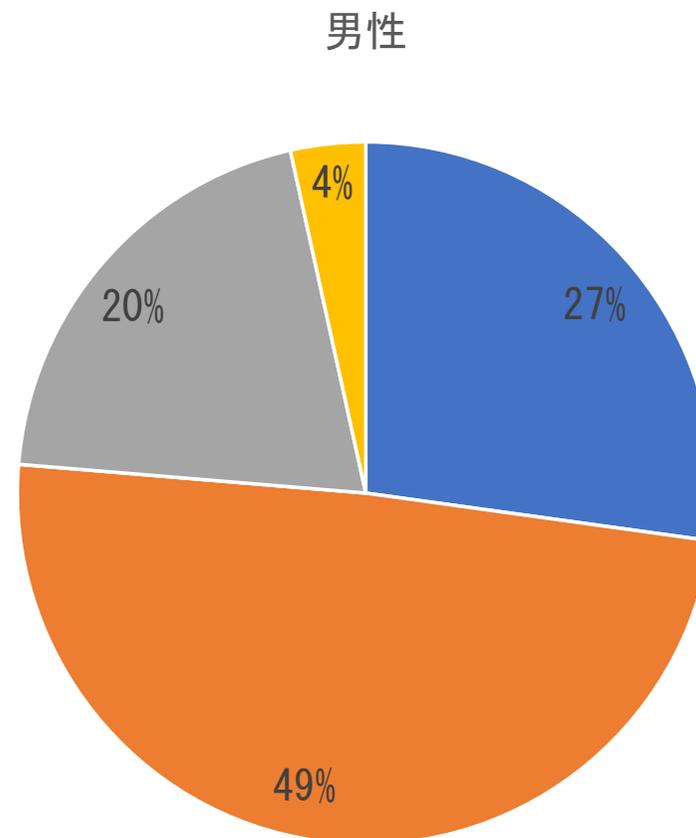
- 自身の病気療養
- 家族の病気や介護
- 家事
- 出産
- 子育て
- 自身の留学
- 配偶者（パートナー）の転勤または留学に従う
- その他

Q36 専門領域として魅力が有るから。

図7



- 最も重要である
- とても重要である
- いづらか重要だと思う
- まったく重要でない

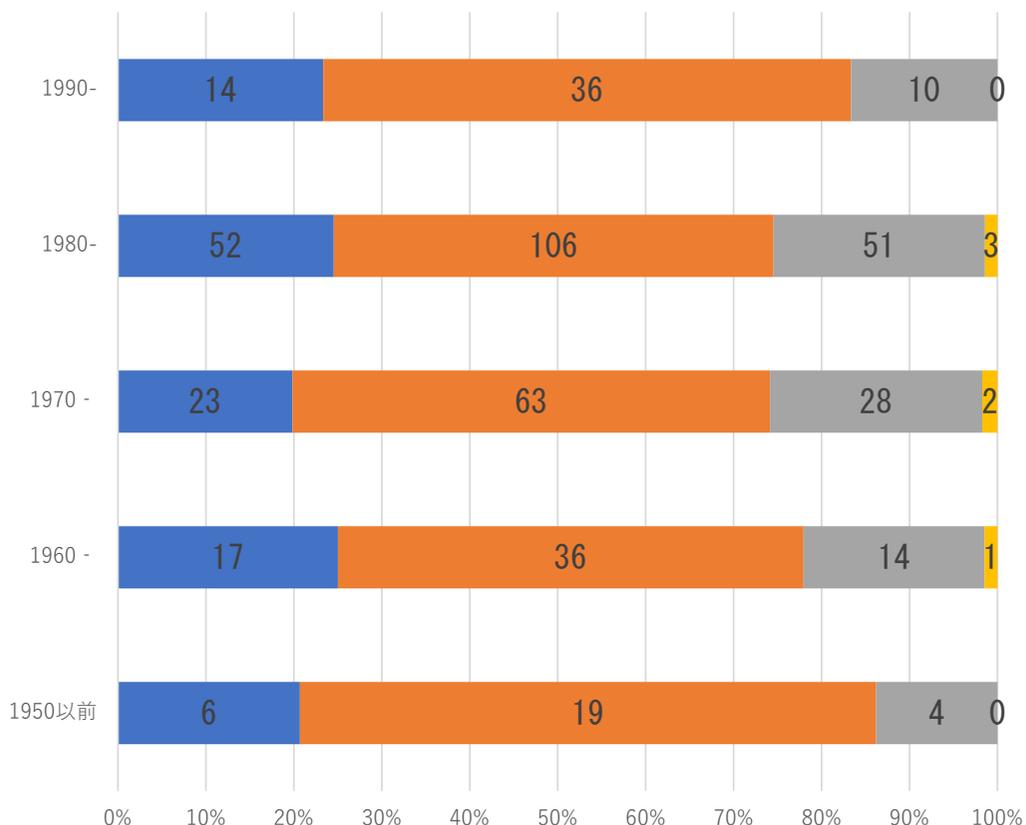


- 最も重要である
- とても重要である
- いづらか重要だと思う
- まったく重要でない

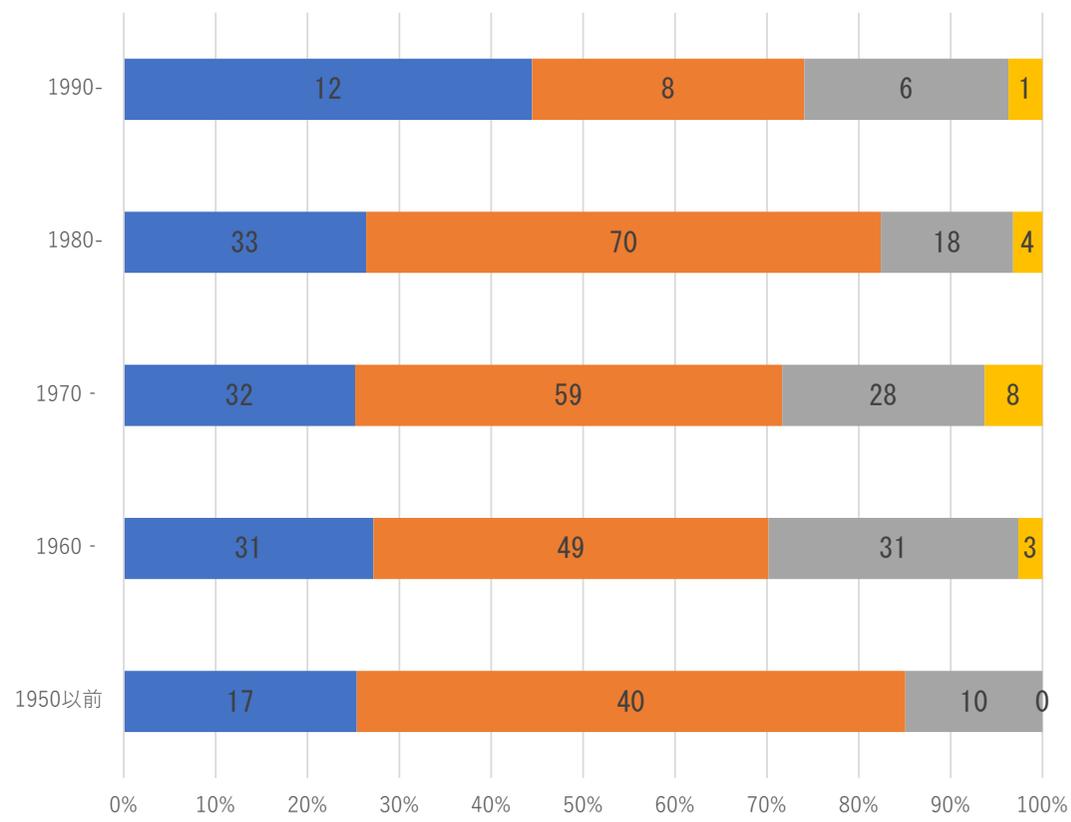
Q36 専門領域として魅力が有るから。性別年齢別分布

図8

女性



男性



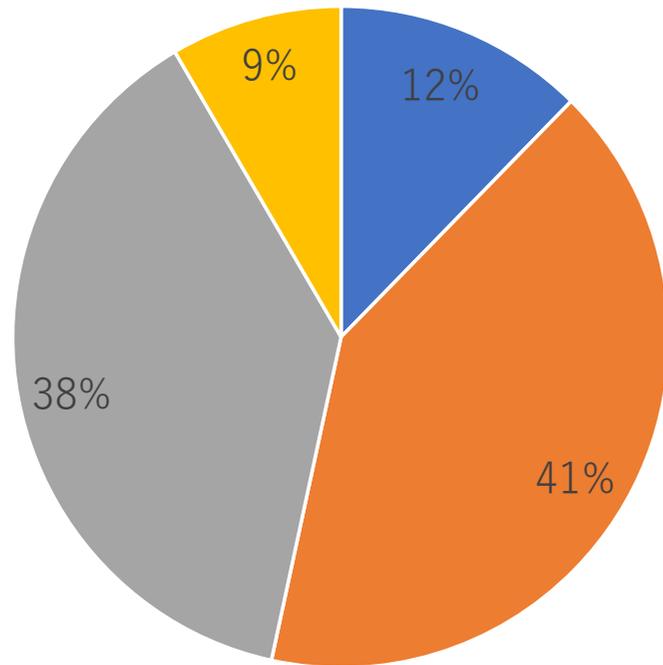
■ 最も重要である ■ とても重要である
 ■ いくらか重要だと思う ■ まったく重要でない

■ 最も重要である ■ とても重要である
 ■ いくらか重要だと思う ■ まったく重要でない

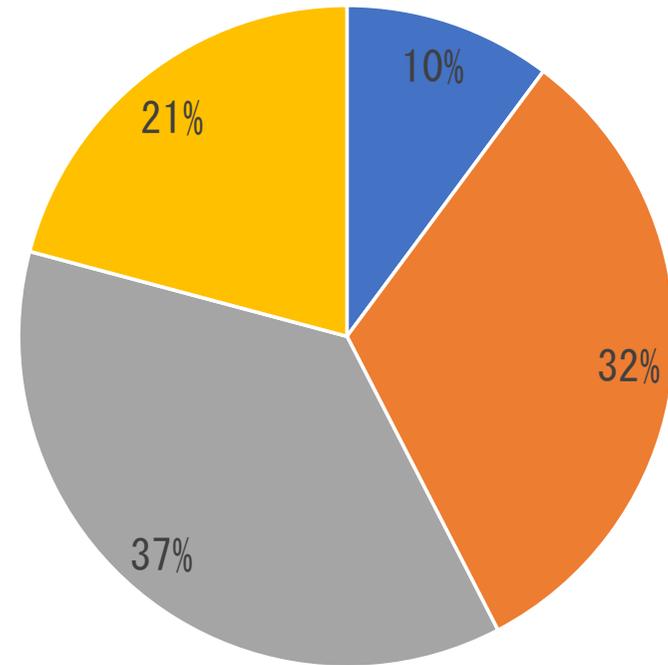
Q37 他の医学分野に比べて時間が自由になるから。

図9

女性



男性

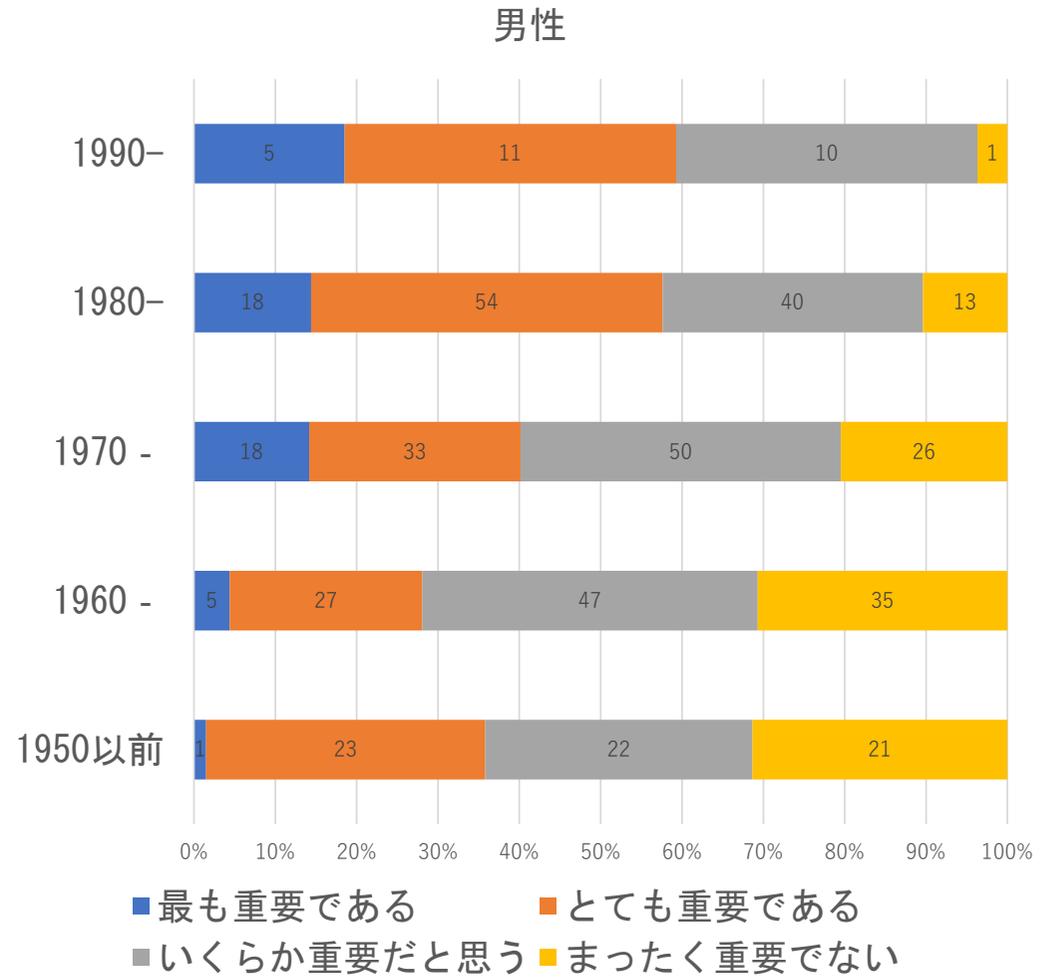
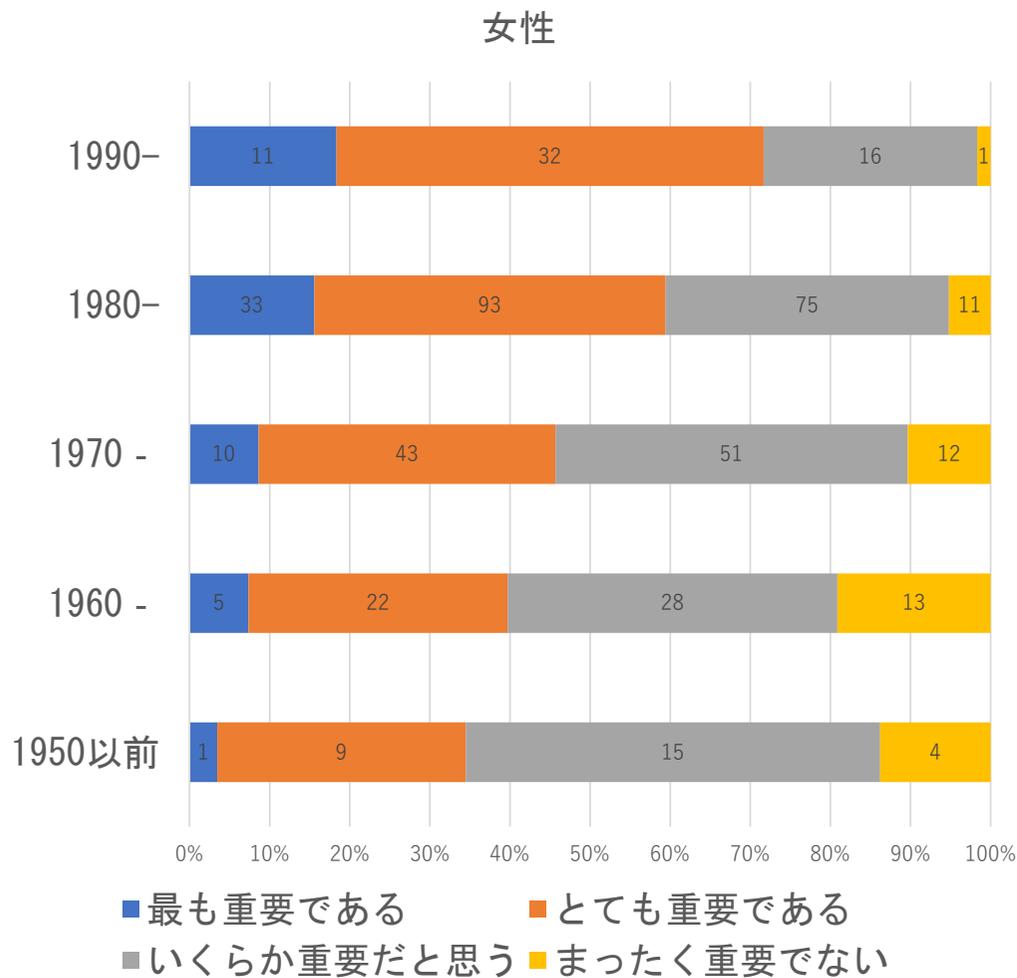


- 最も重要である
- とても重要である
- いくらか重要だと思う
- まったく重要でない

- 最も重要である
- とても重要である
- いくらか重要だと思う
- まったく重要でない

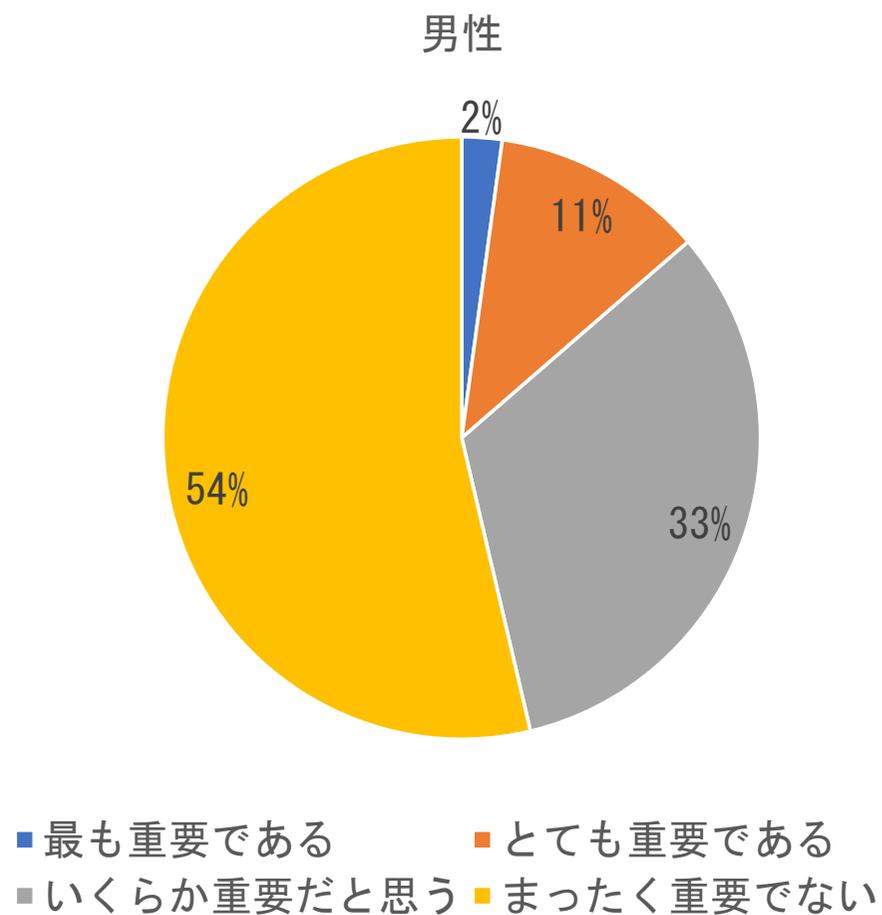
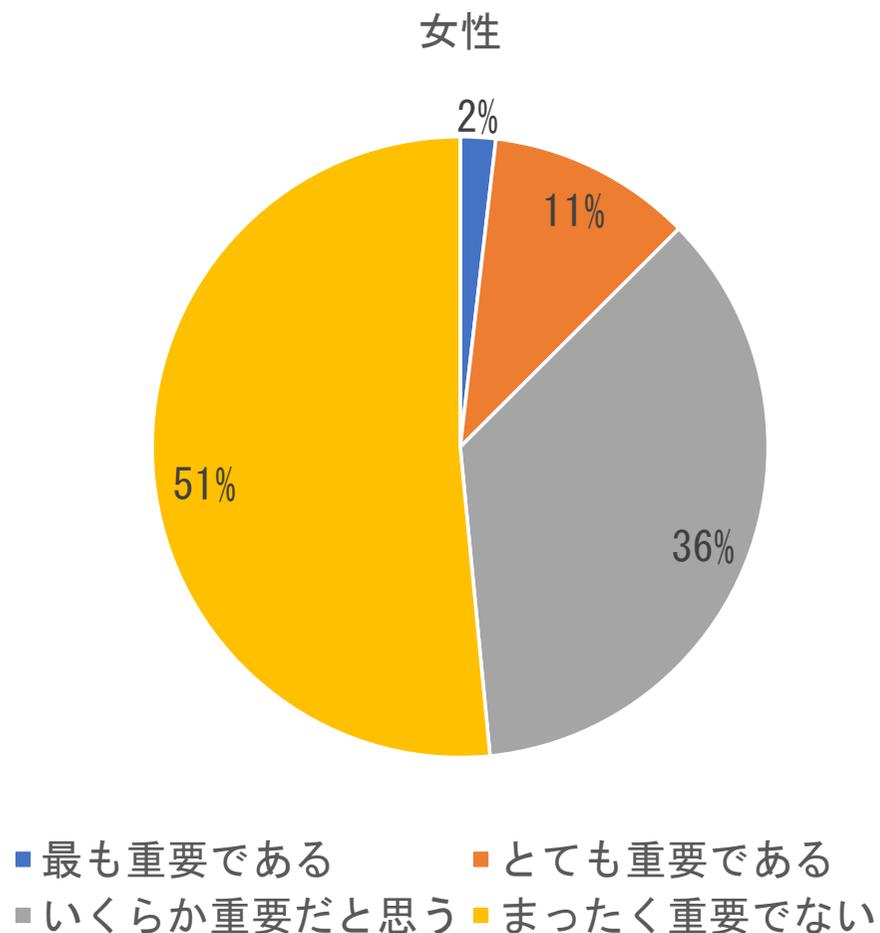
Q37 他の医学分野に比べて時間が自由になるから。

図10



Q38 他の医学分野に比べて昇進が早いから。

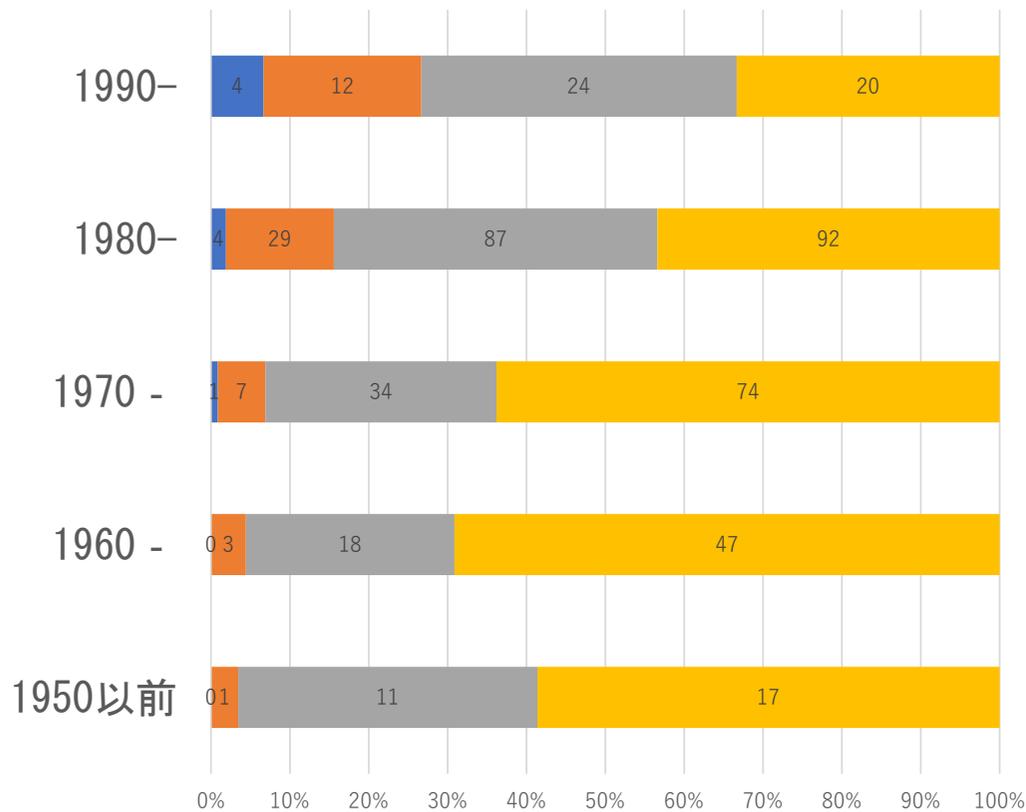
図11



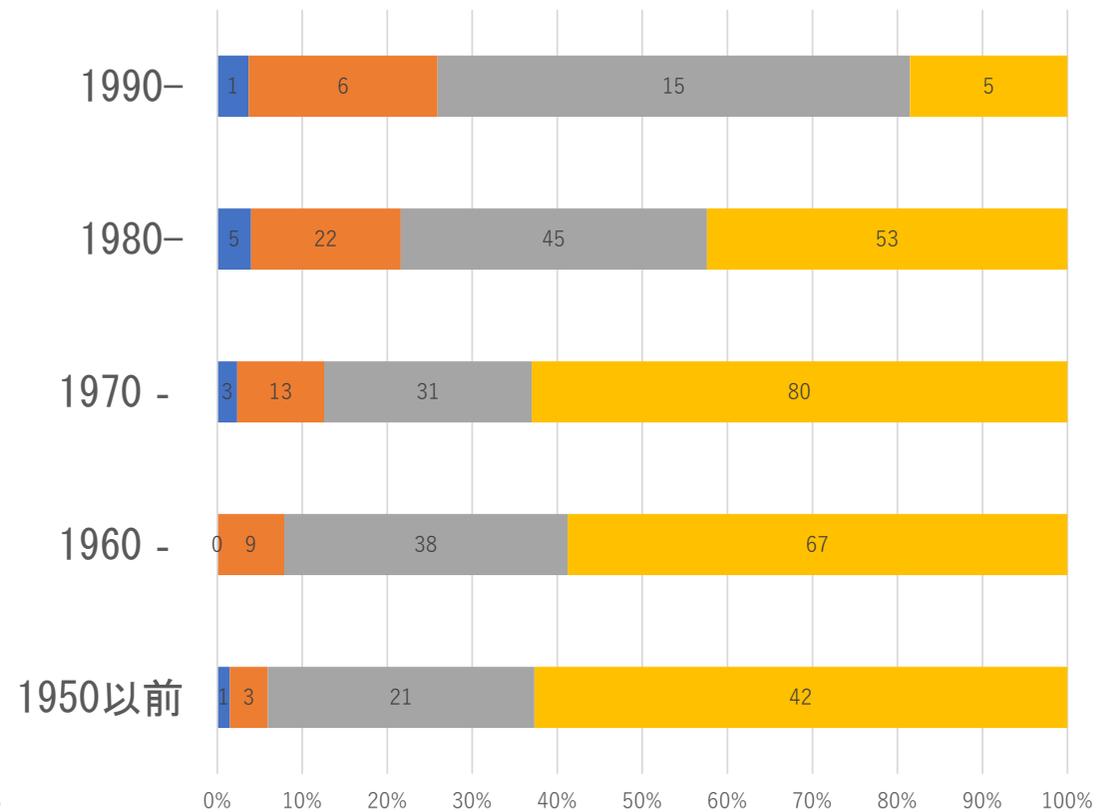
Q38 他の医学分野に比べて昇進が早いから。

図12

女性



男性

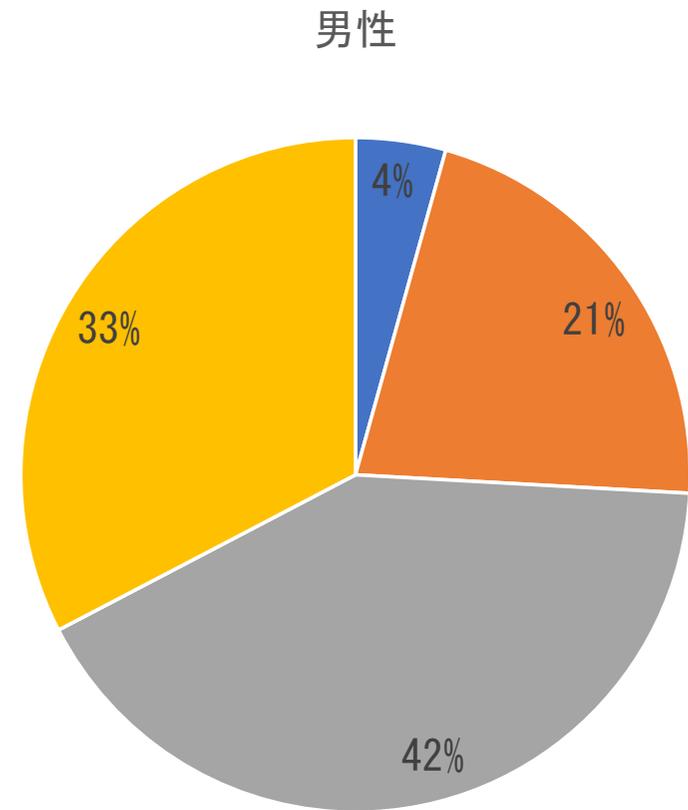
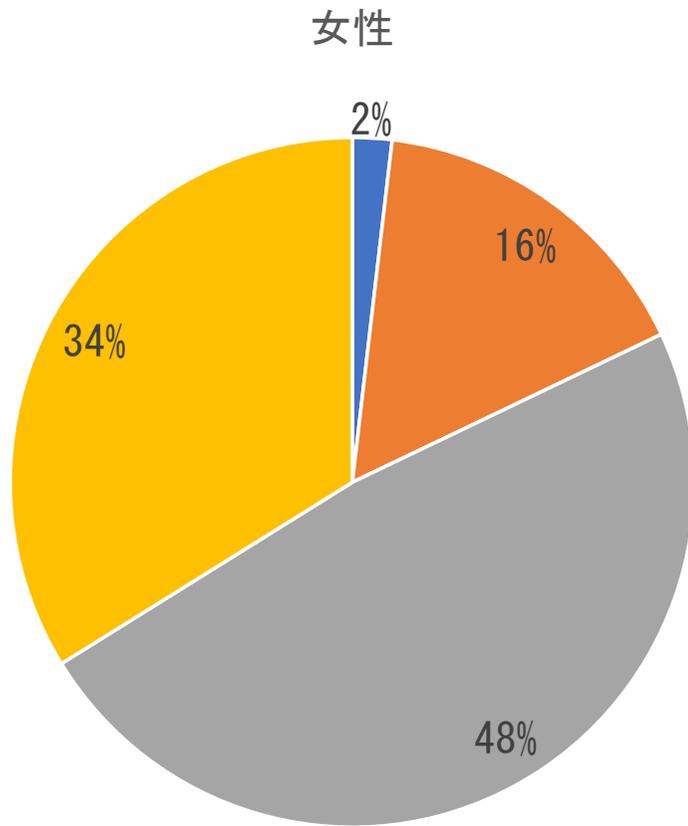


■最も重要である ■とても重要である
 ■いづらか重要だと思う ■まったく重要でない

■最も重要である ■とても重要である
 ■いづらか重要だと思う ■まったく重要でない

Q39 他の医学分野に比べて収入が良いから。

図13



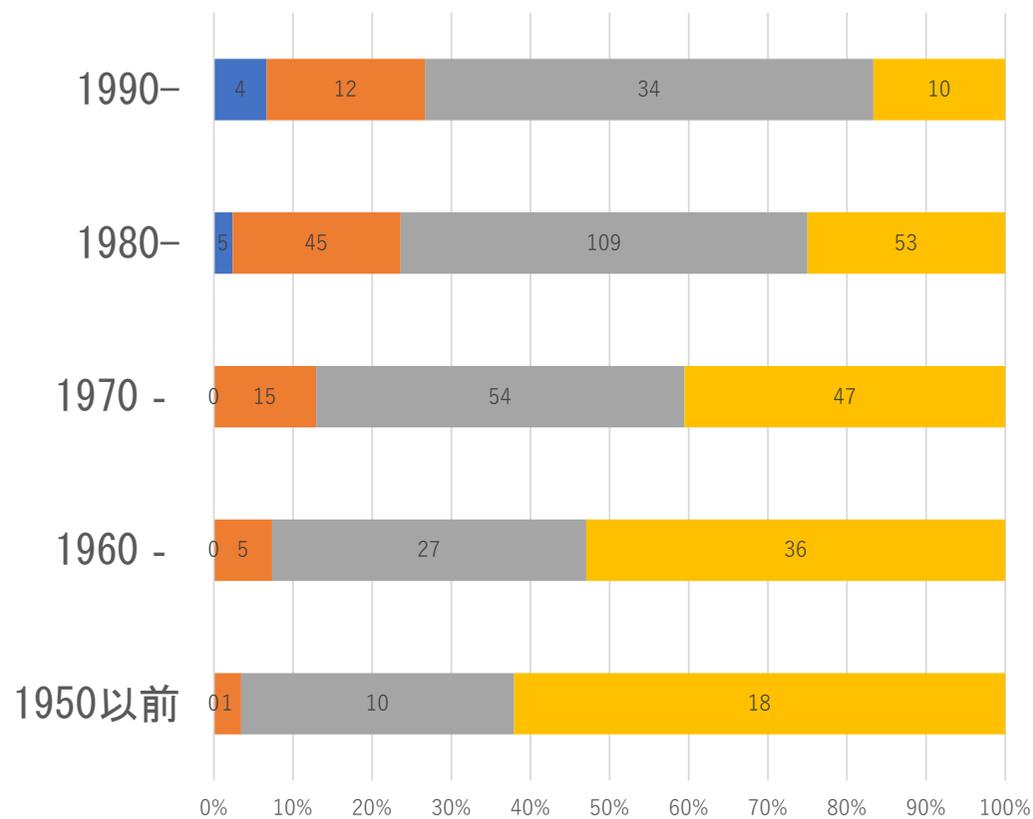
- 最も重要である
- とても重要である
- いづらか重要だと思う
- まったく重要でない

- 最も重要である
- とても重要である
- いづらか重要だと思う
- まったく重要でない

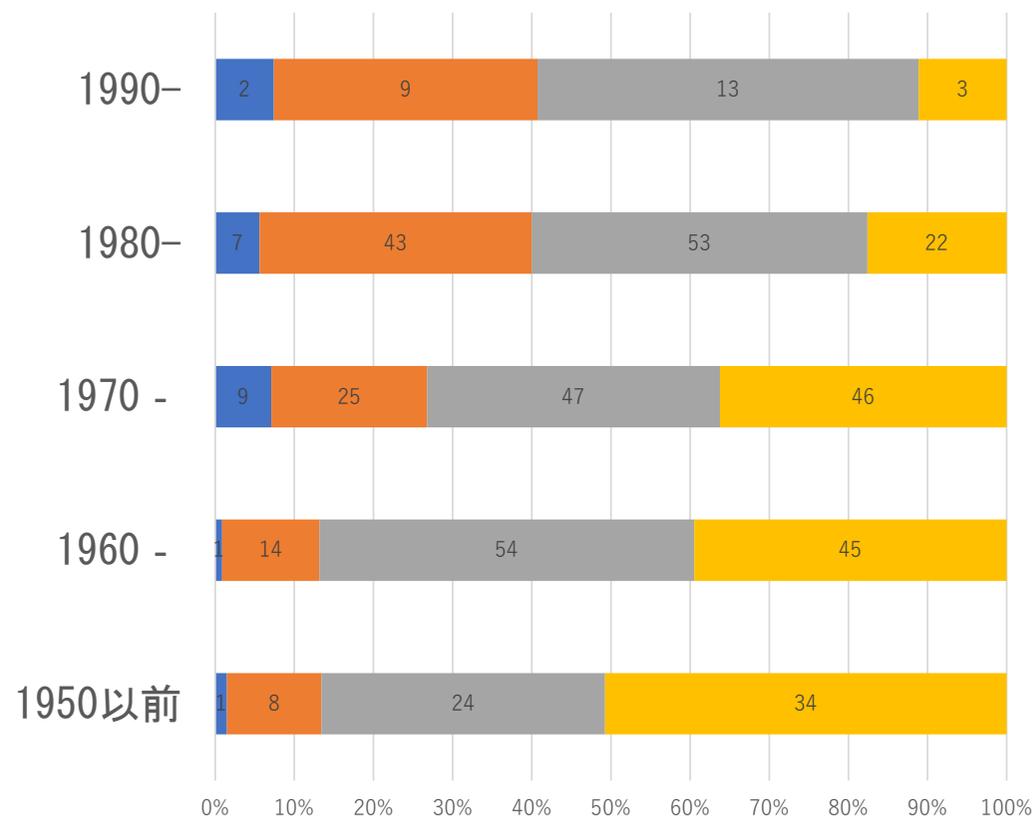
Q39 他の医学分野に比べて収入が良いから。

図14

女性



男性



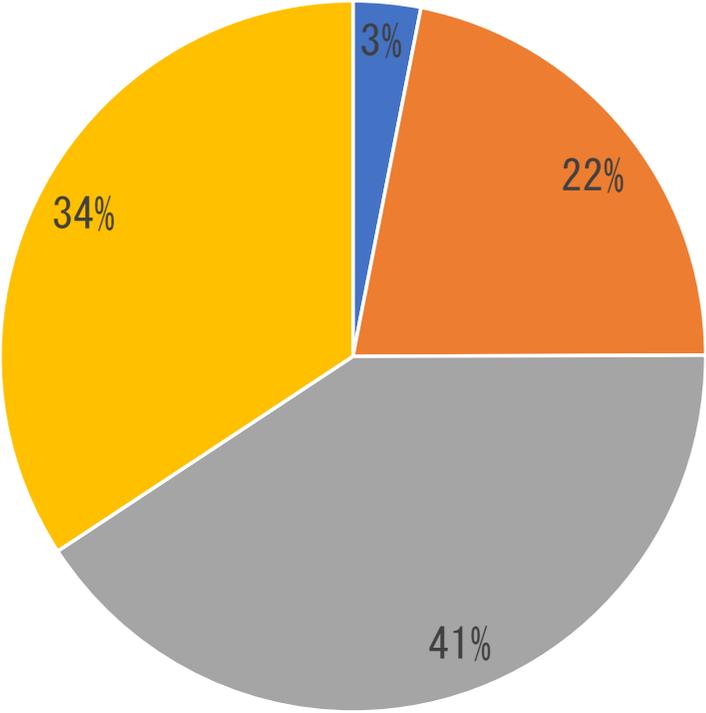
■ 最も重要である ■ とても重要である
 ■ いくらか重要だと思う ■ まったく重要でない

■ 最も重要である ■ とても重要である
 ■ いくらか重要だと思う ■ まったく重要でない

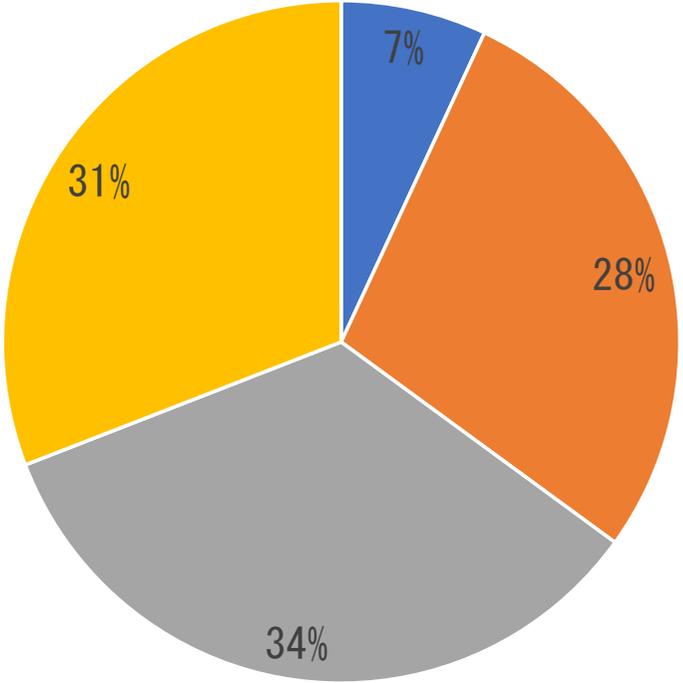
Q40 強く勧めてくれる人がいたから。

図15

女性



男性

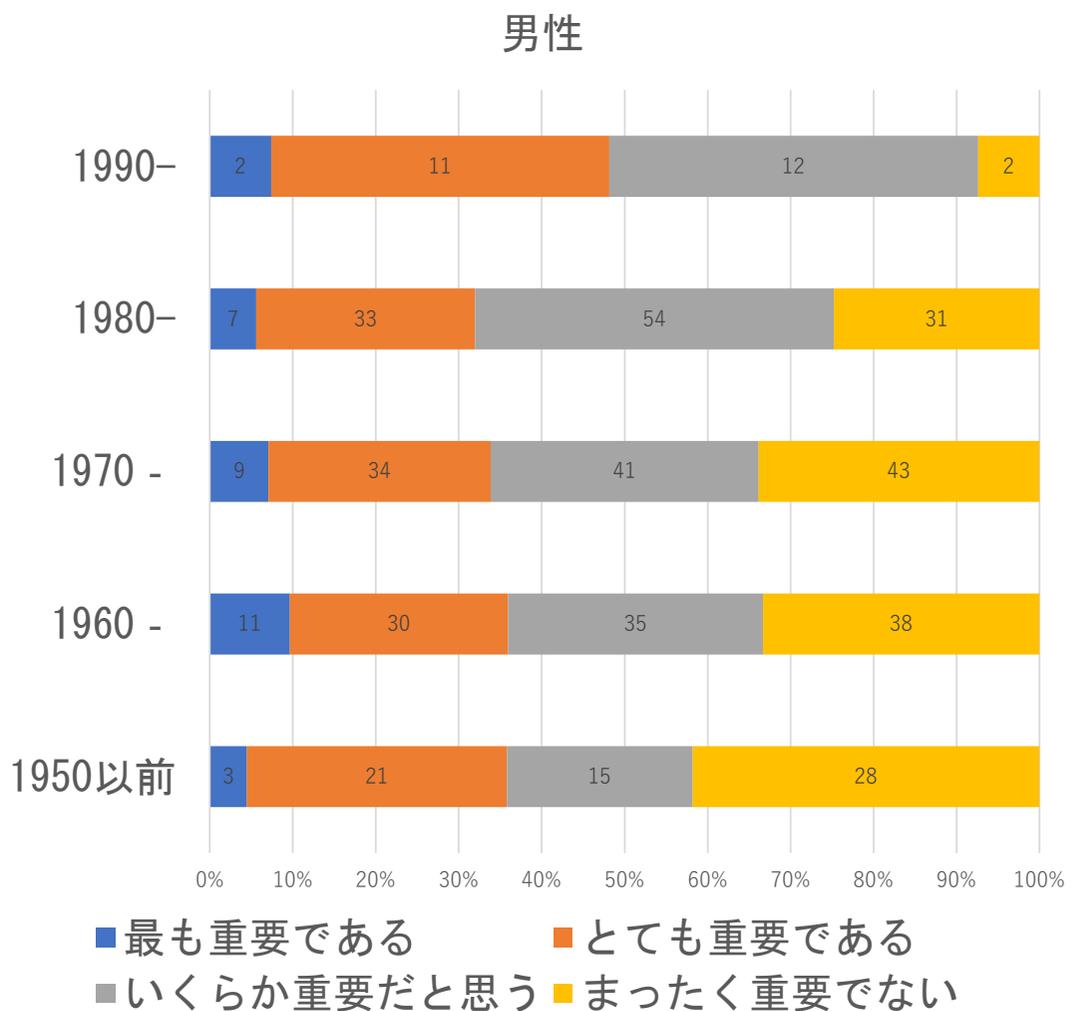
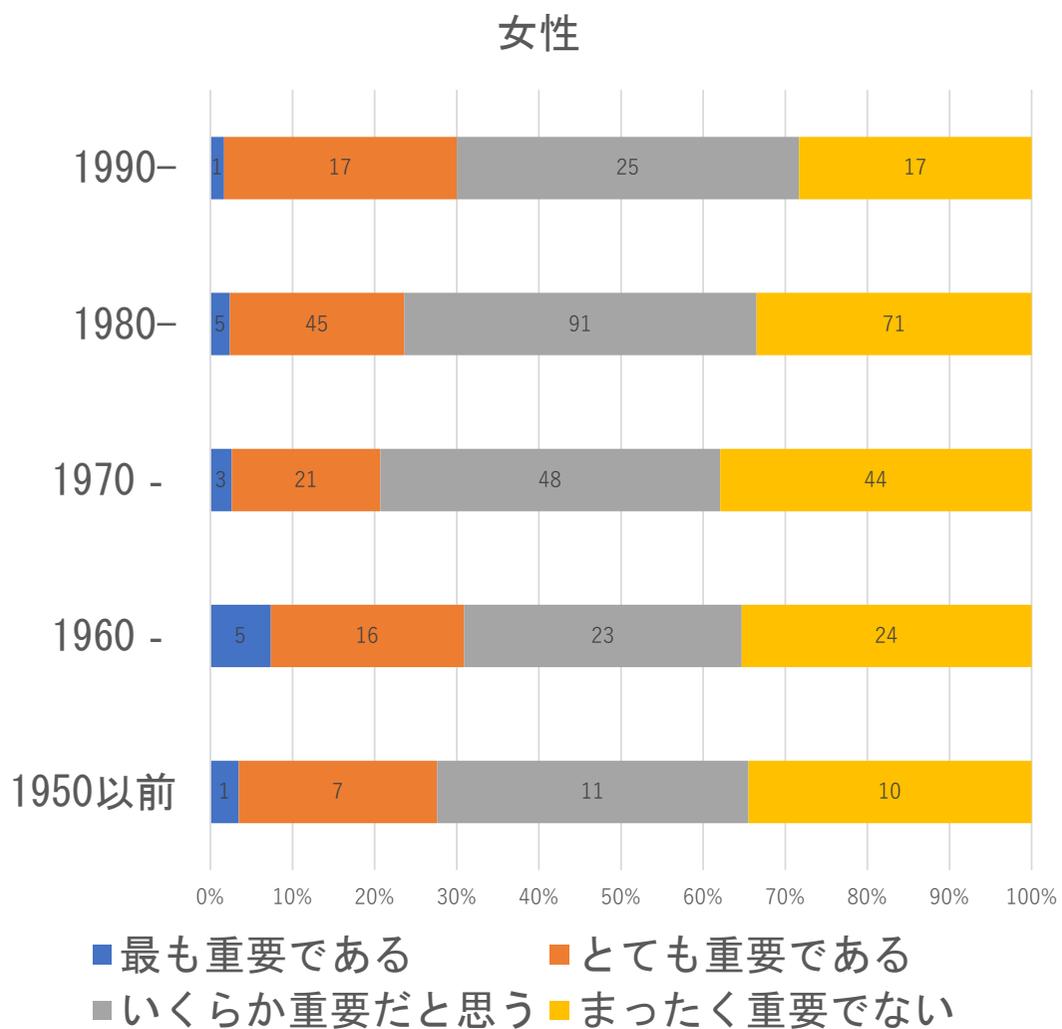


- 最も重要である
- とても重要である
- いくらか重要だと思う
- まったく重要でない

- 最も重要である
- とても重要である
- いくらか重要だと思う
- まったく重要でない

Q40 強く勧めてくれる人がいたから。

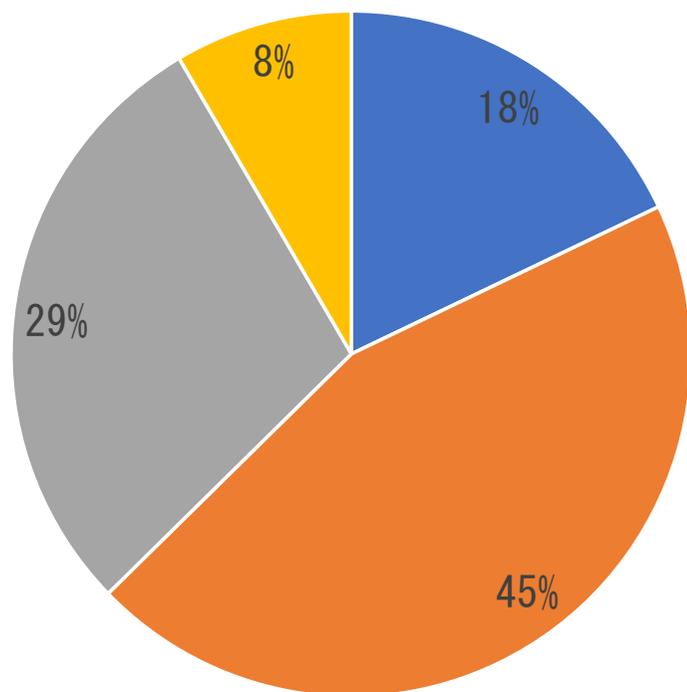
図16



Q41 家庭との両立がしやすいから。

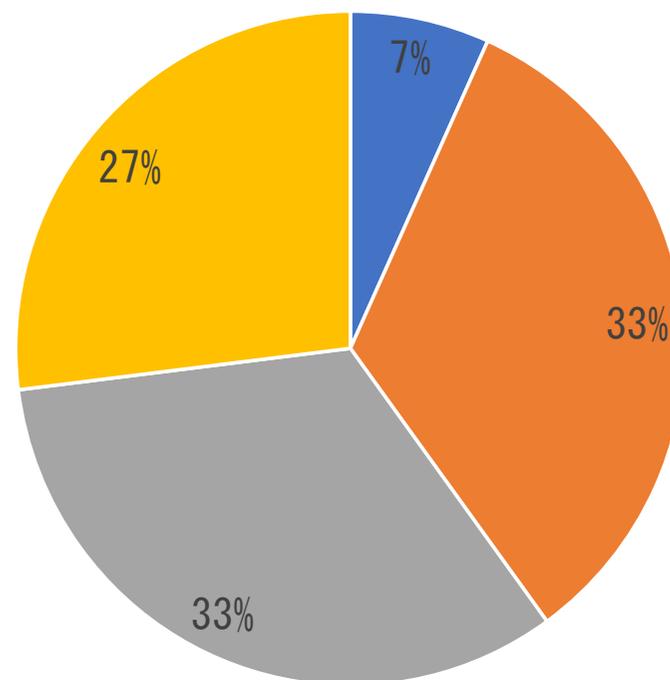
図17

女性



- 最も重要である
- とても重要である
- いくらか重要だと思う
- まったく重要でない

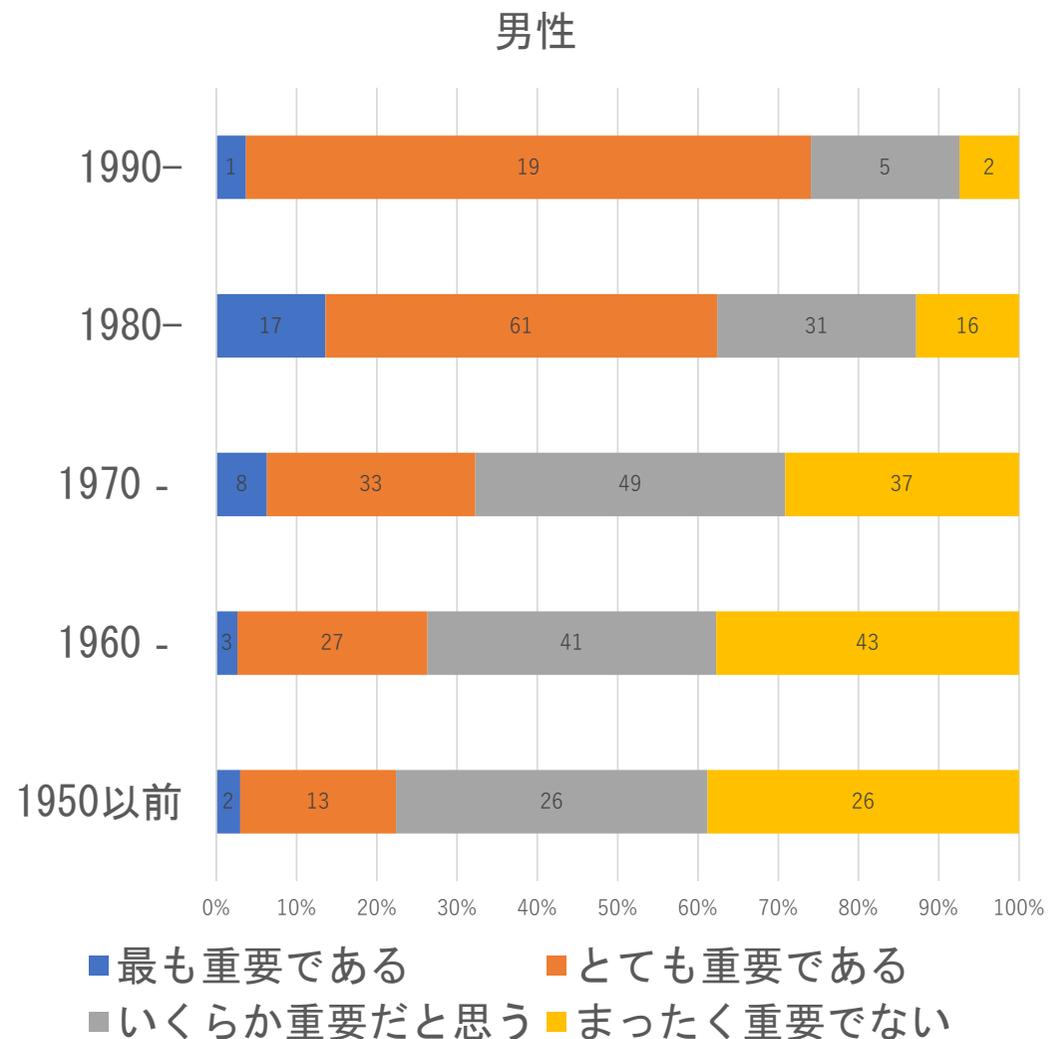
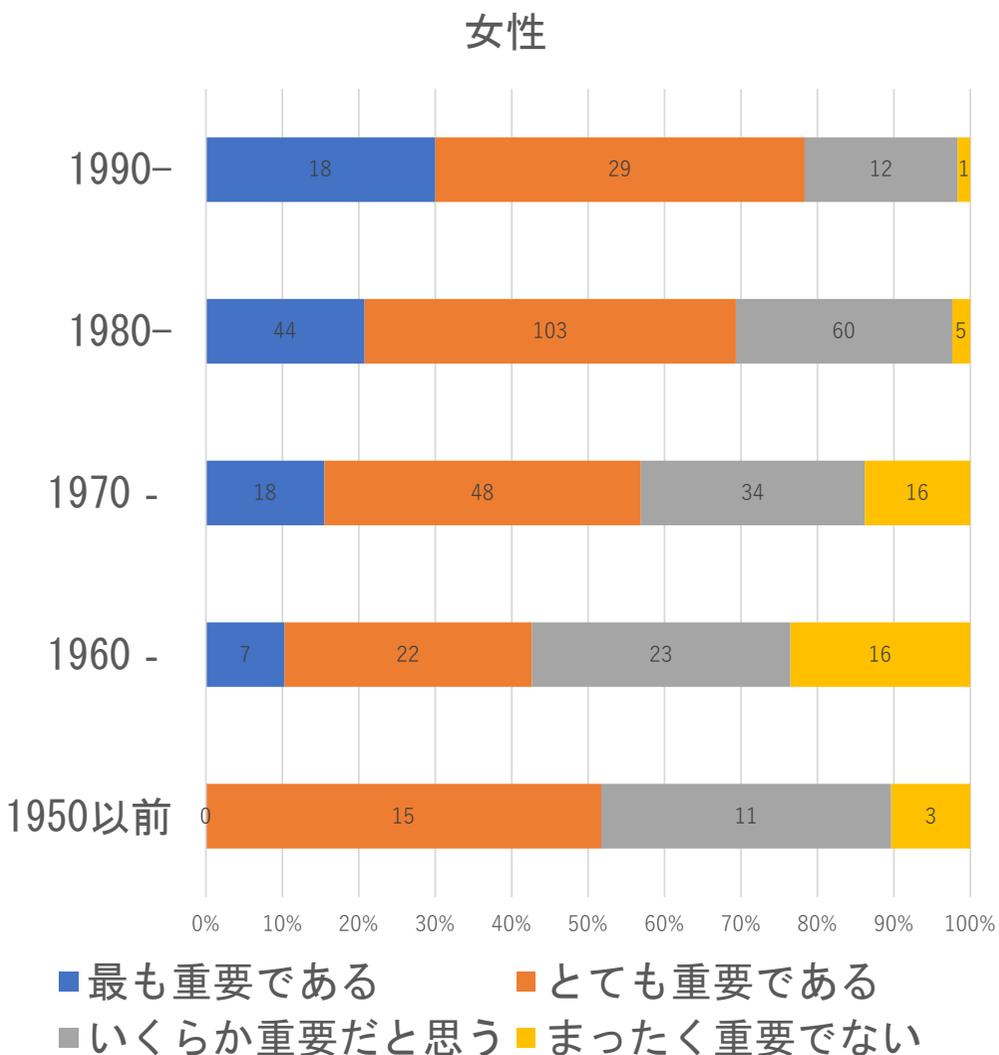
男性



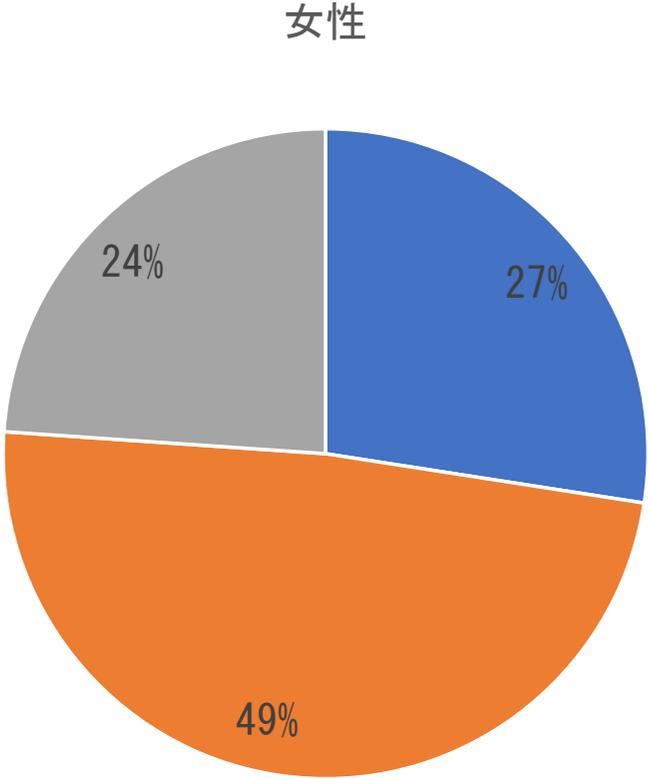
- 最も重要である
- とても重要である
- いくらか重要だと思う
- まったく重要でない

Q41 家庭との両立がしやすいから。

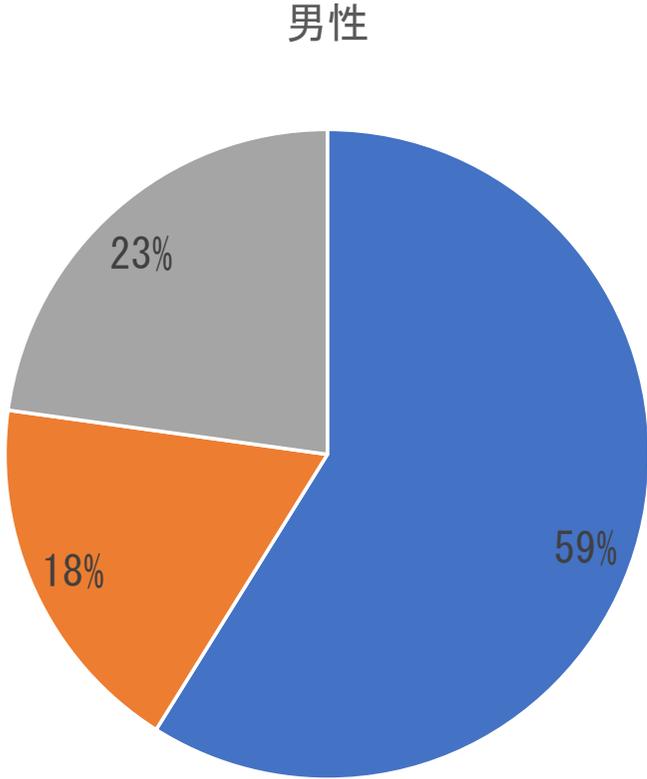
図18



Q49 あなたは、あなたの同僚の男性と比べて、昇進などの職業的な機会は完全に同等だと思いますか 図19



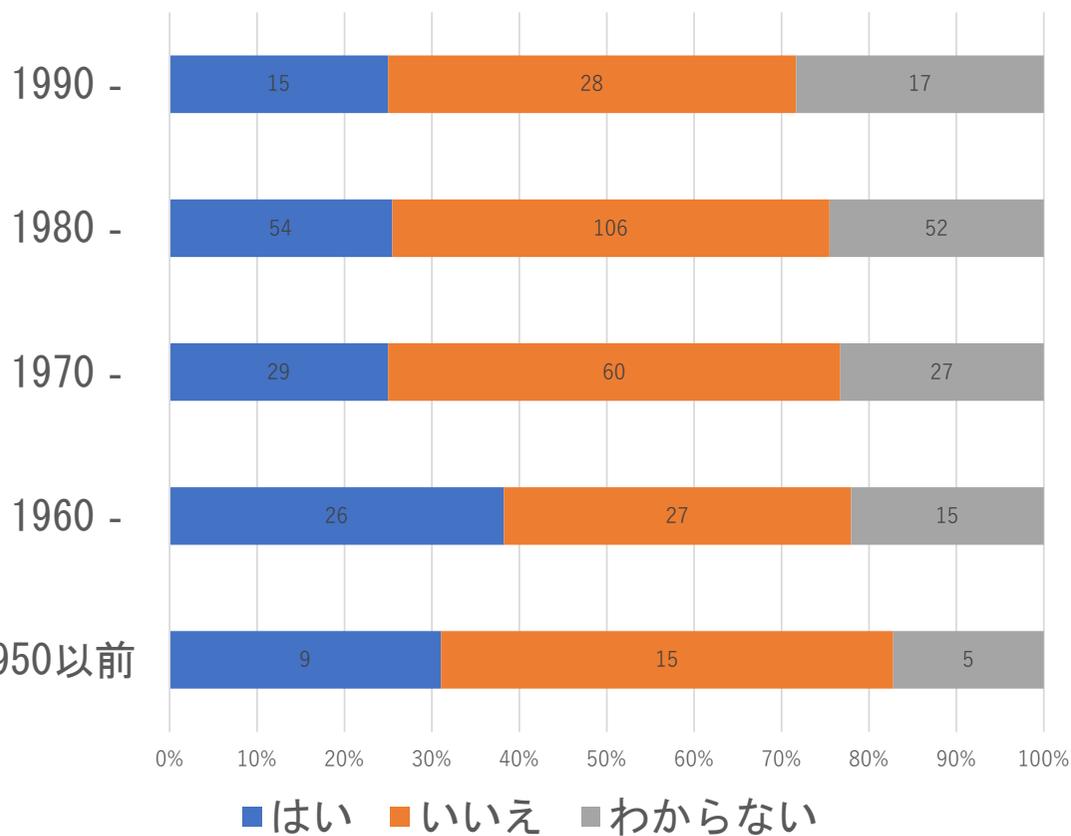
■はい ■いいえ ■わからない



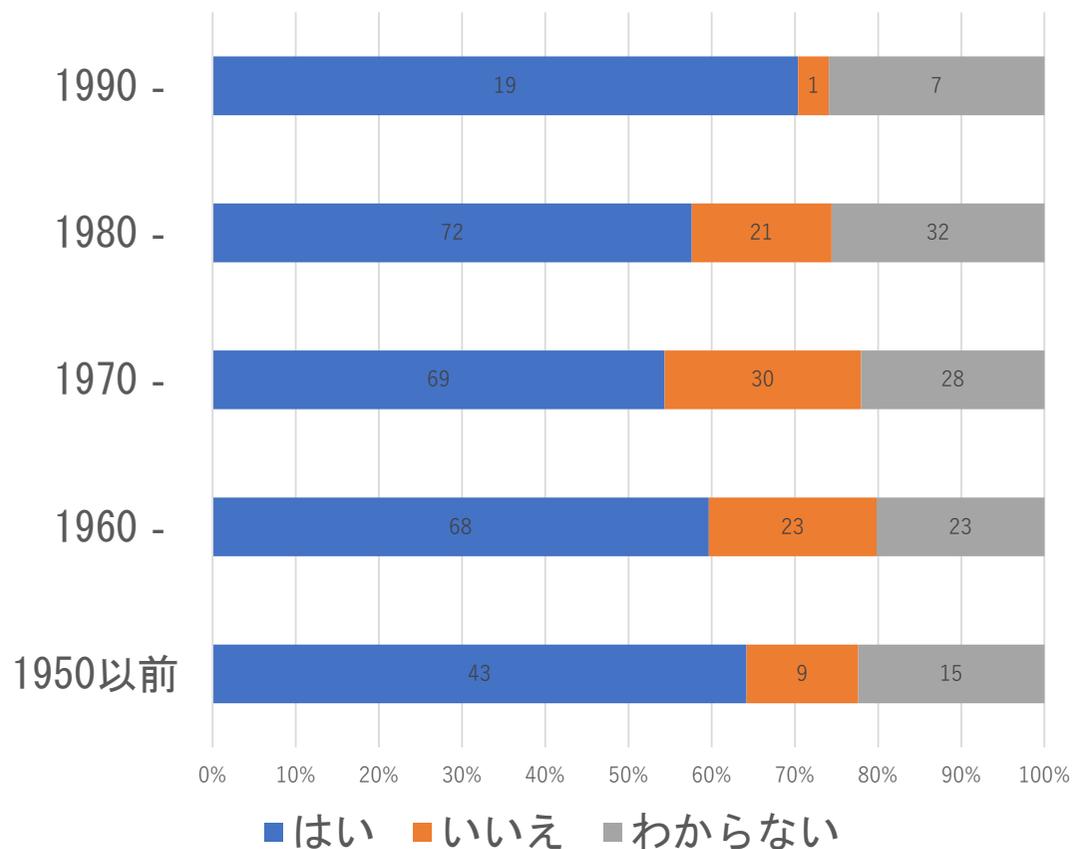
■はい ■いいえ ■わからない

Q49 あなたは、あなたの同僚の男性と比べて、昇進などの職業的な機会は完全に同等だと思いますか。 図20

女性

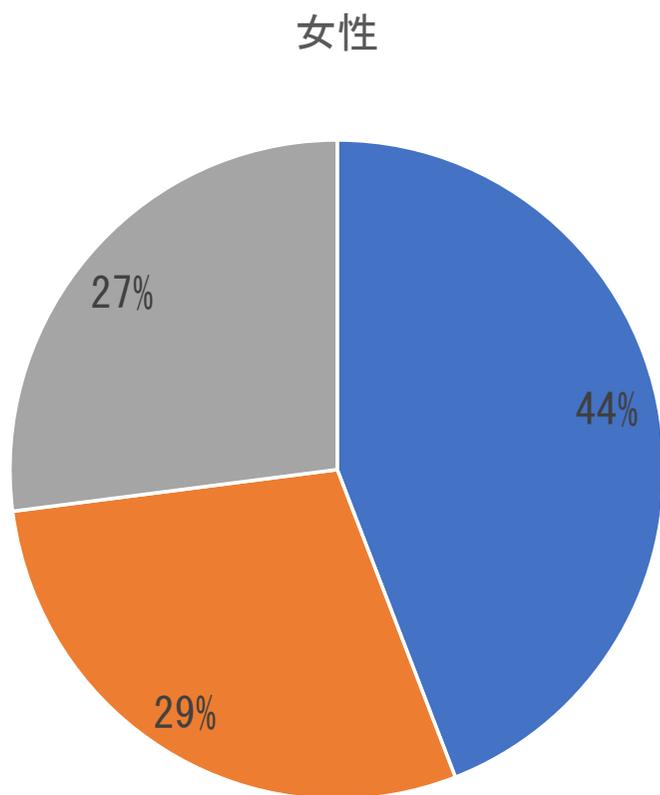


男性

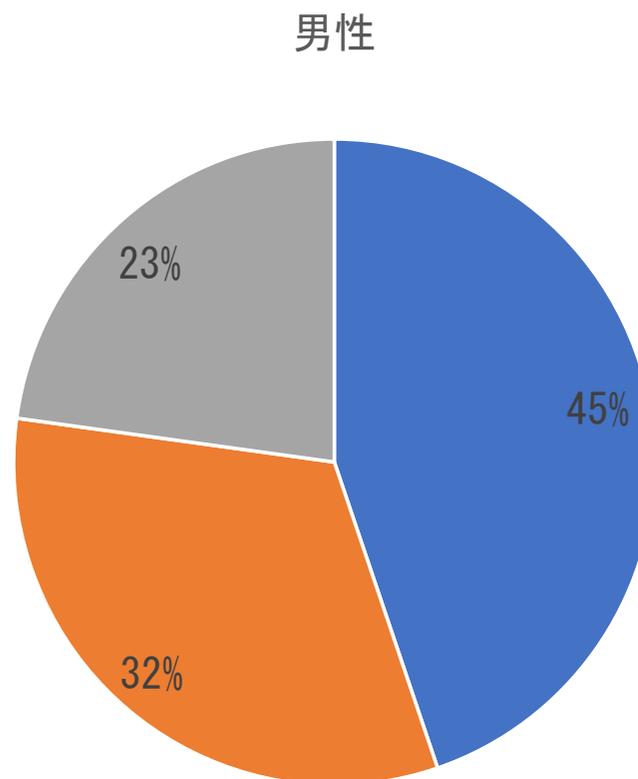


Q50 あなたは、あなたの同僚の女性と比べて、昇進などの職業的な機会は完全に同等だと思いますか。

図21



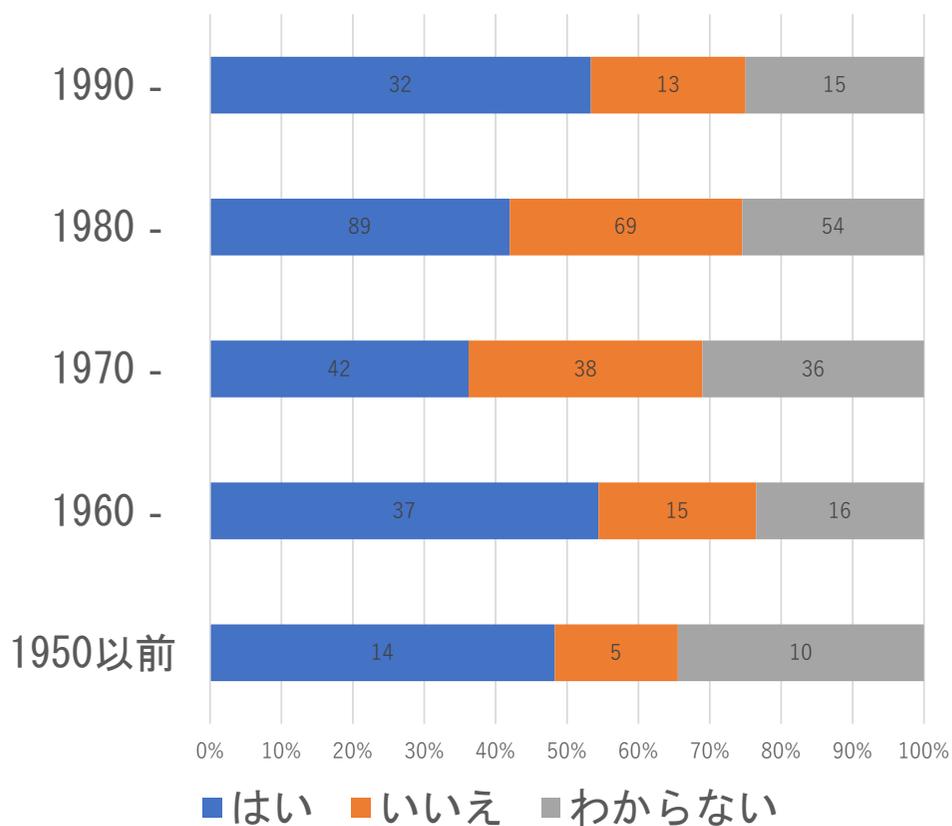
■ はい ■ いいえ ■ わからない



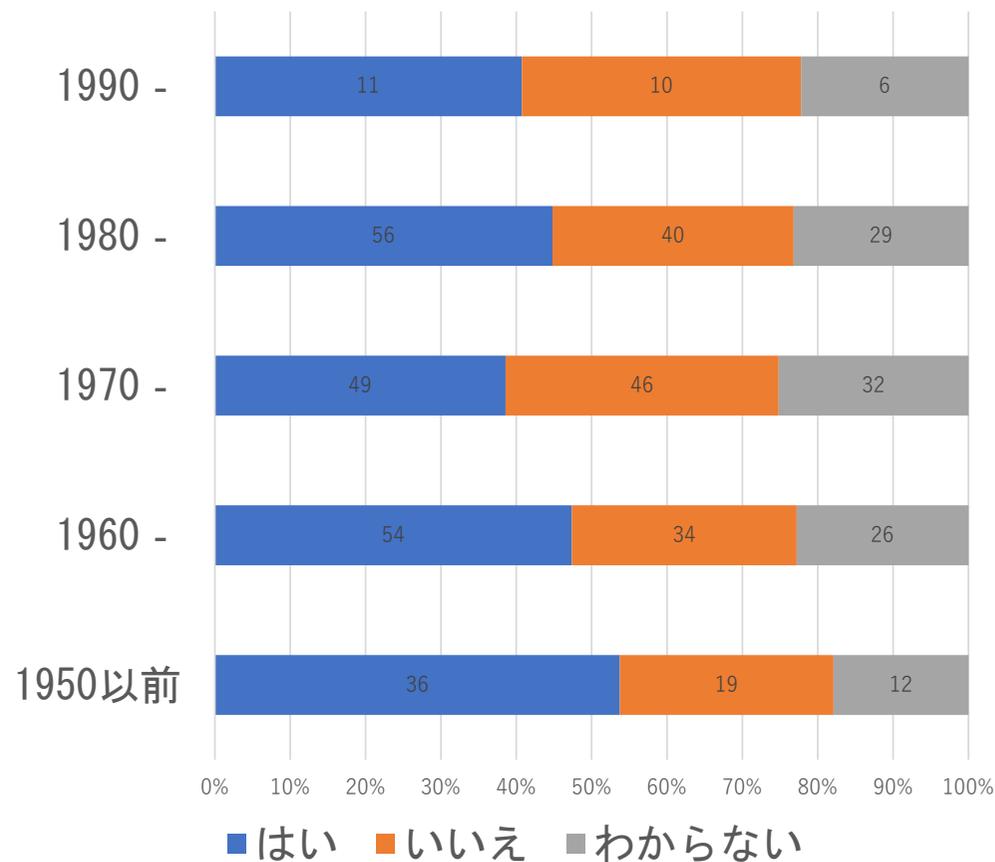
■ はい ■ いいえ ■ わからない

Q50 あなたは、あなたの同僚の女性と比べて、昇進などの職業的な機会は完全に同等だと思いますか。 図22

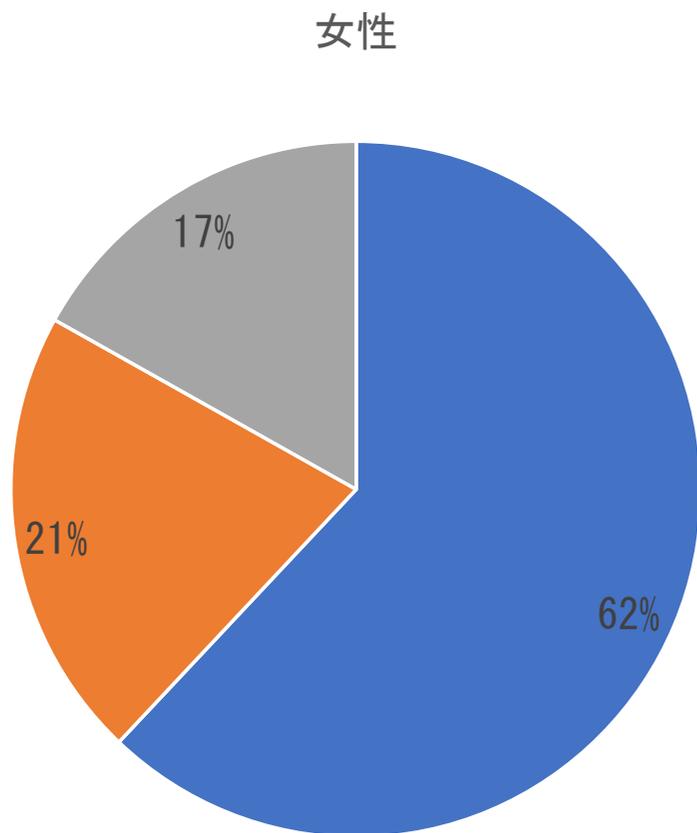
女性



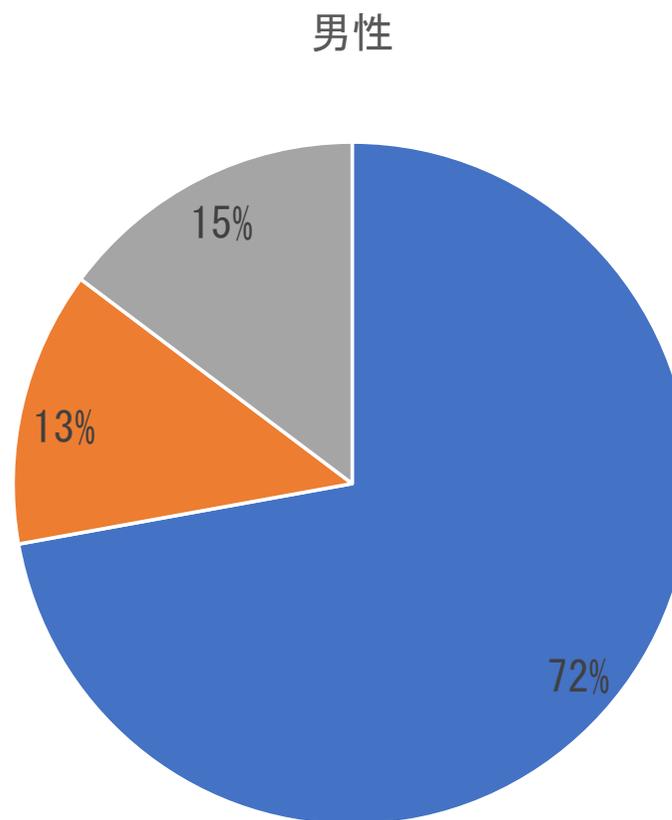
男性



Q51 医学部や病院において同じ地位にある麻酔科医はgenderに関係なく、同等の給与を支給されていると思いますか。 図23



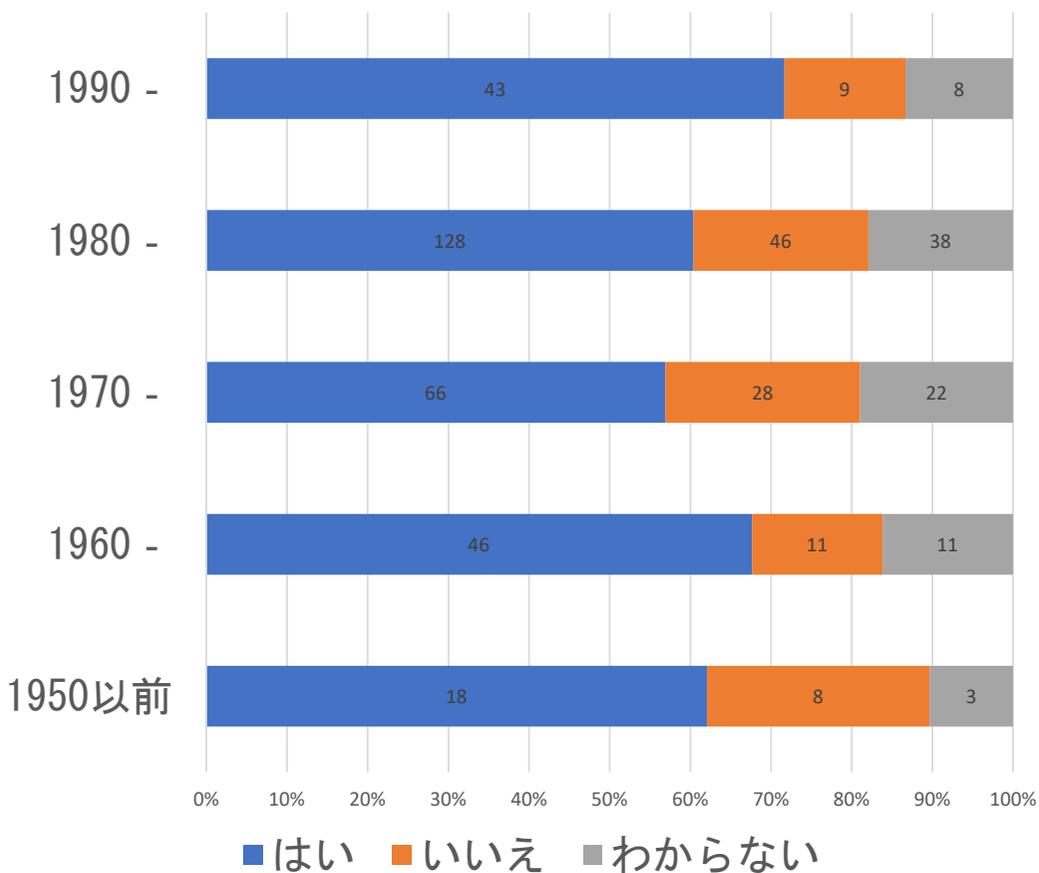
■ はい ■ いいえ ■ わからない



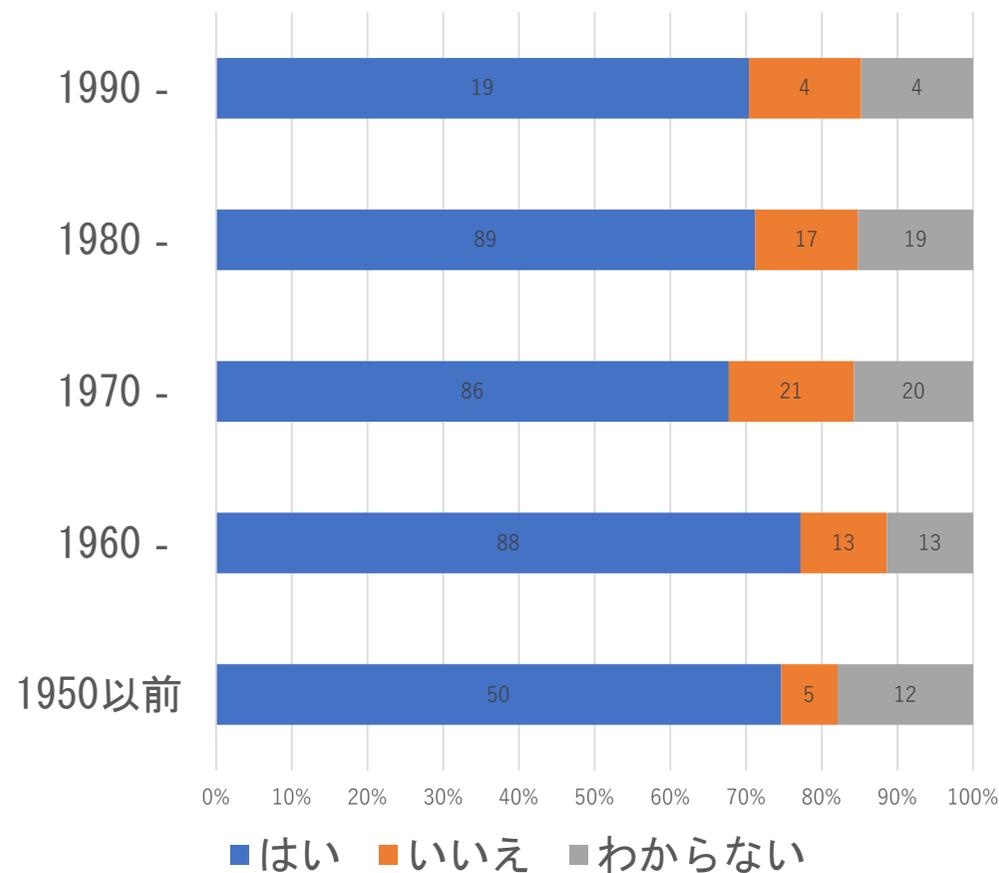
■ はい ■ いいえ ■ わからない

Q51 医学部や病院において同じ地位にある麻酔科医はgenderに関係なく、同等の給与を支給されていると思いますか。 図24

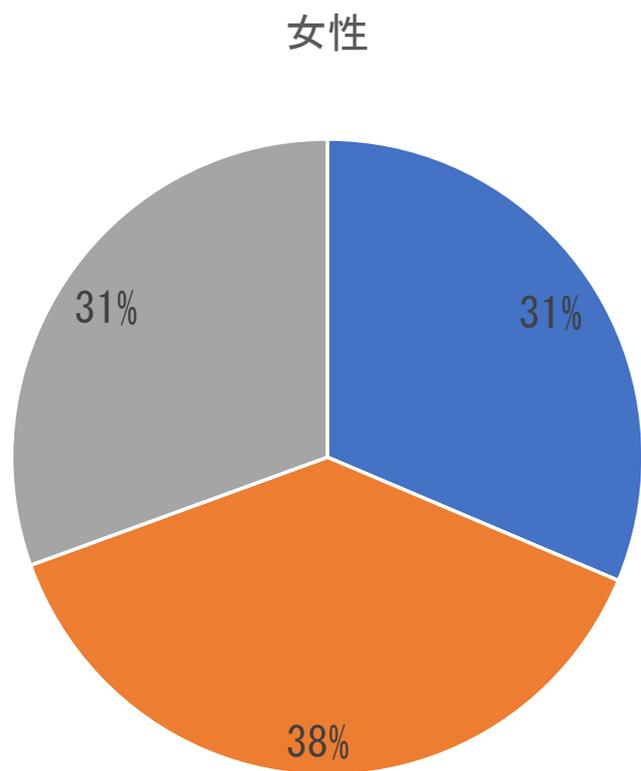
女性



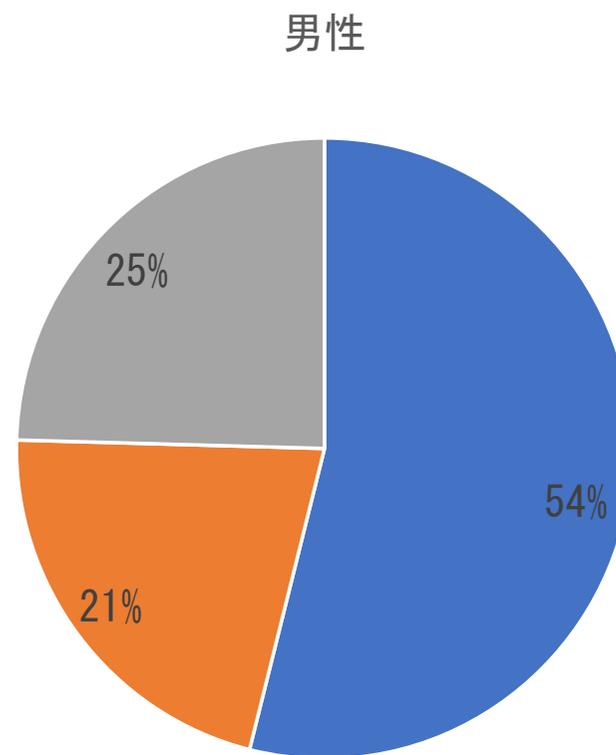
男性



Q52 医学部や病院において同じ地位にある麻酔科医はgenderの偏見のない方法で昇進を与えられていると思いますか。 図25



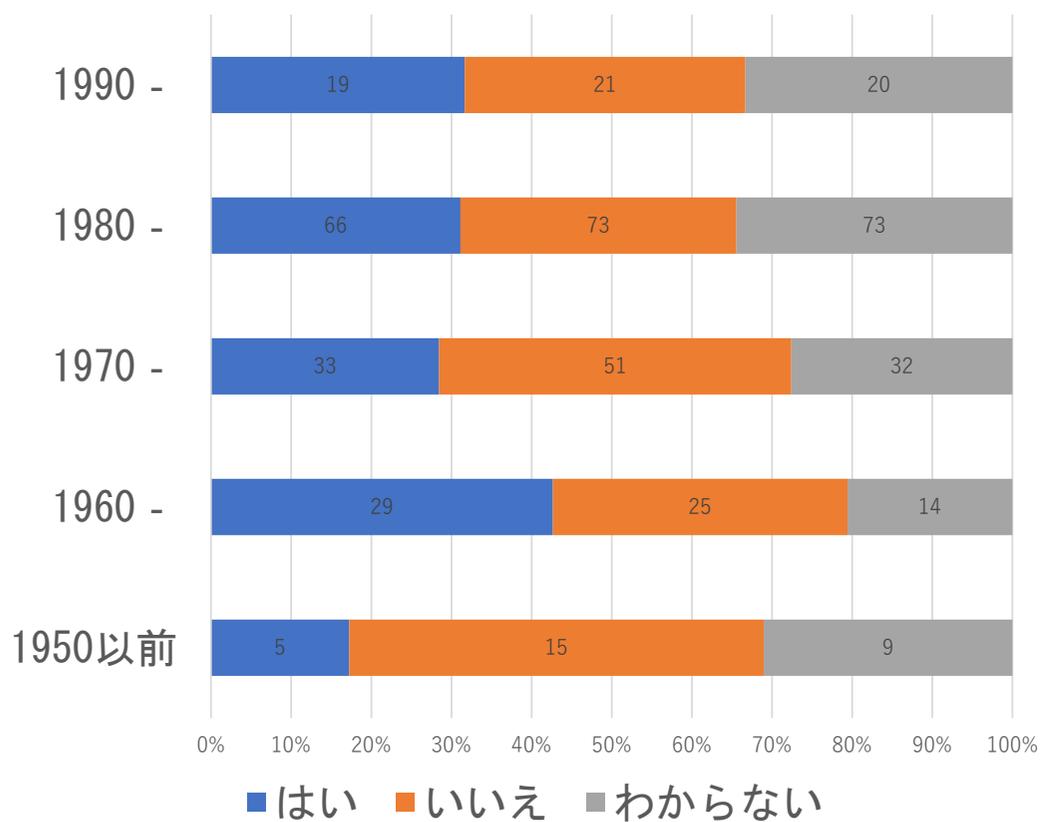
■ はい ■ いいえ ■ わからない



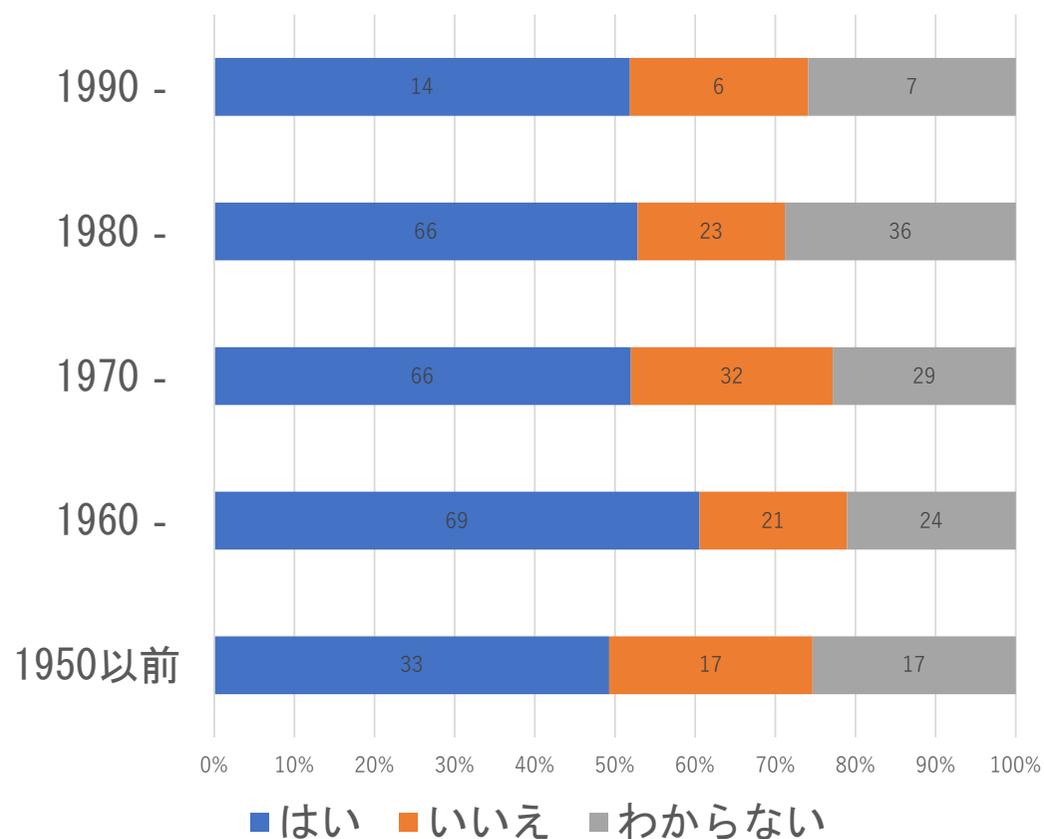
■ はい ■ いいえ ■ わからない

Q52 医学部や病院において同じ地位にある麻酔科医はgenderの偏見のない方法で昇進を与えられていると思いますか。 図26

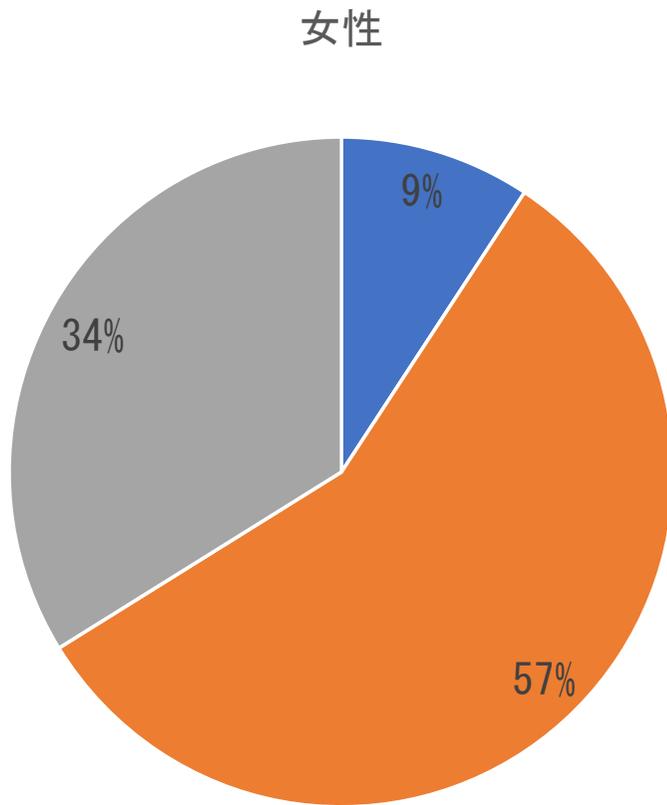
女性



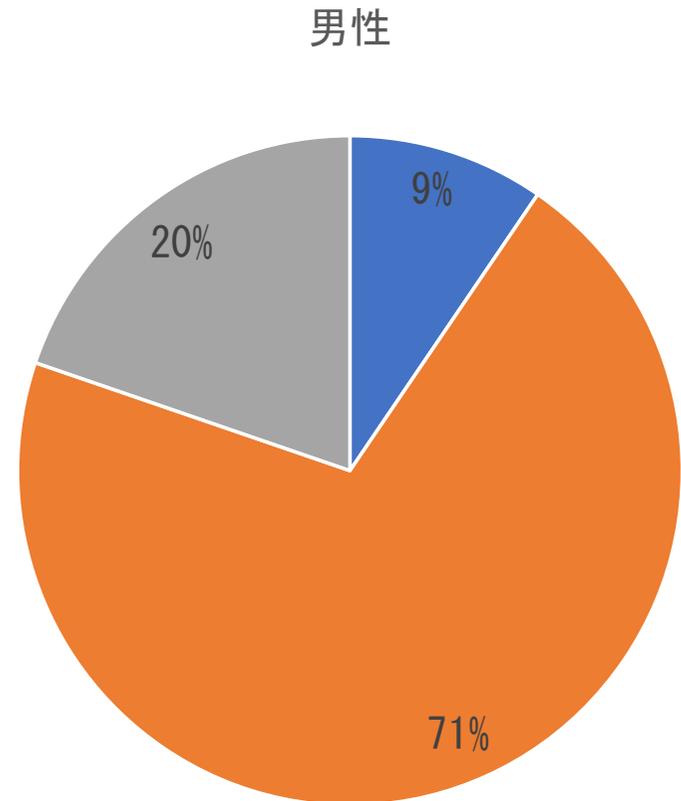
男性



Q53 男性以外の教職員は、男性の同僚に比べて講義や委員会や他の義務的な仕事により多く振り分けられていると思いますか。 ^{図27} _{図27}

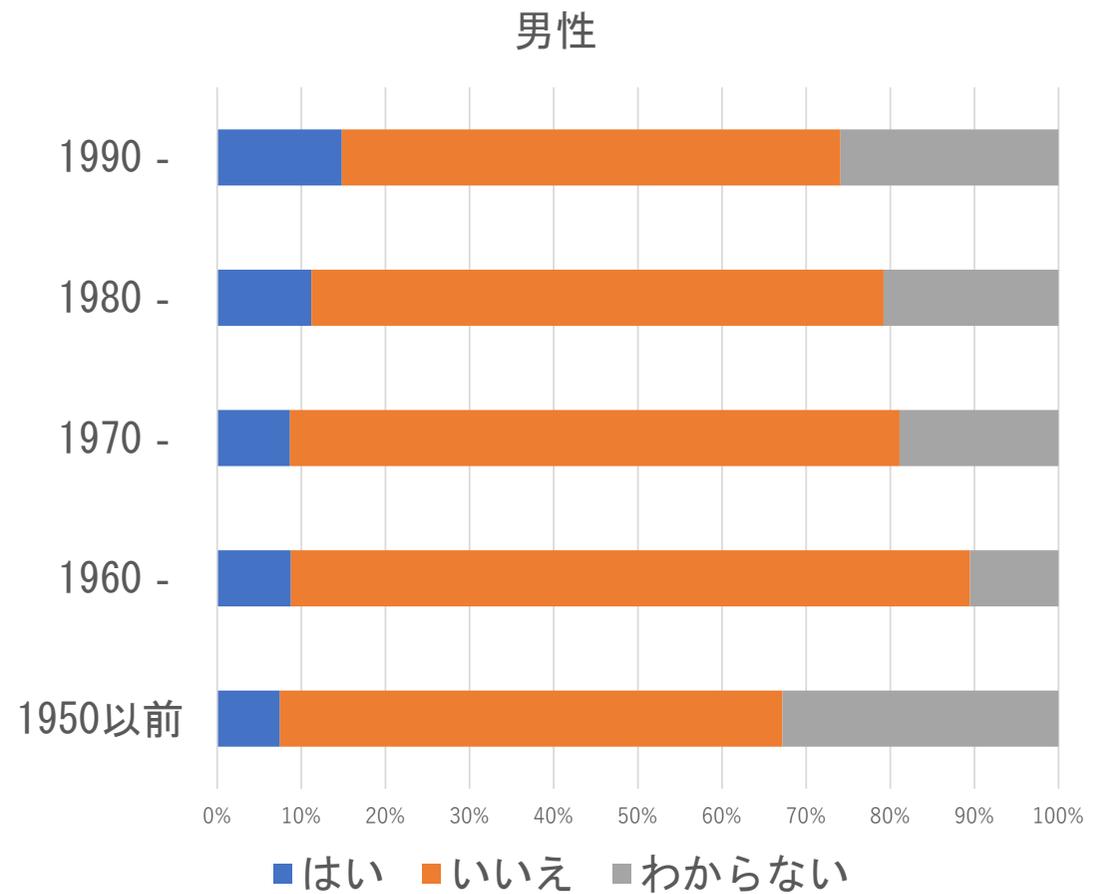
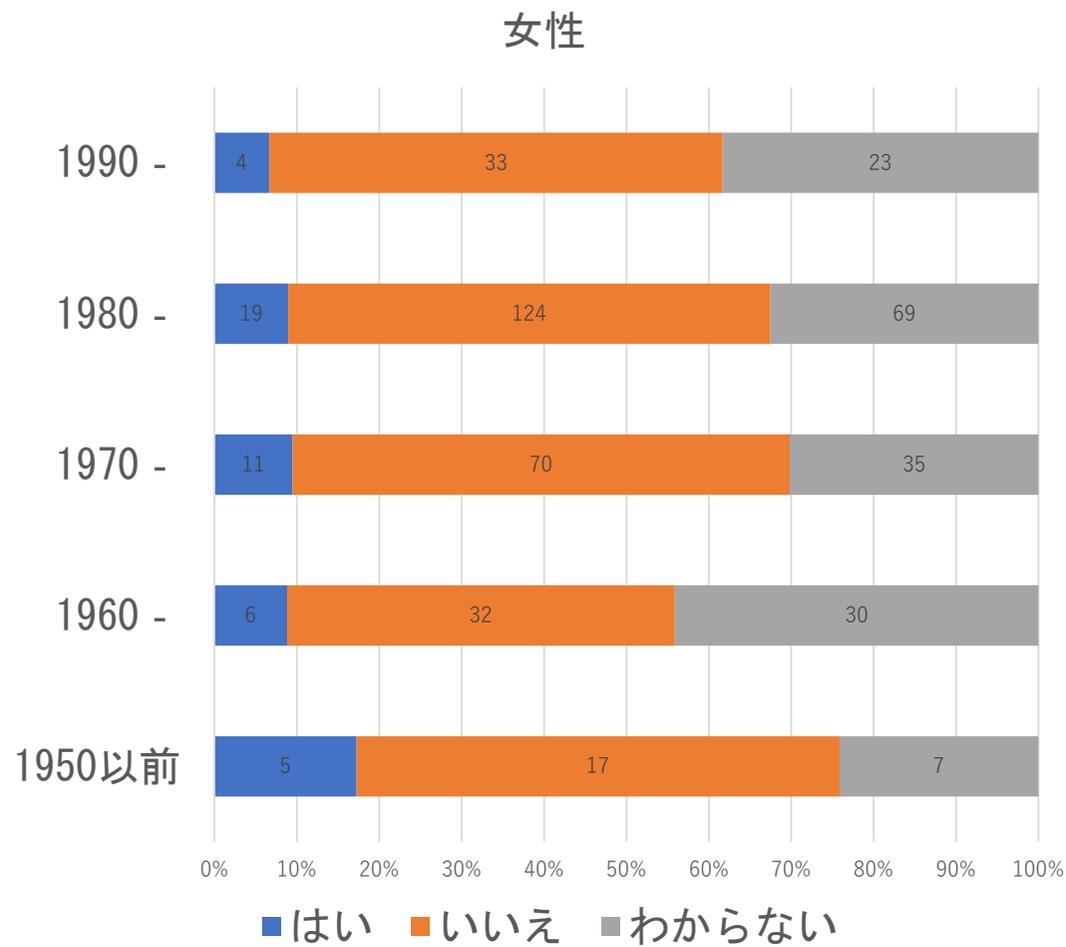


■ はい ■ いいえ ■ わからない



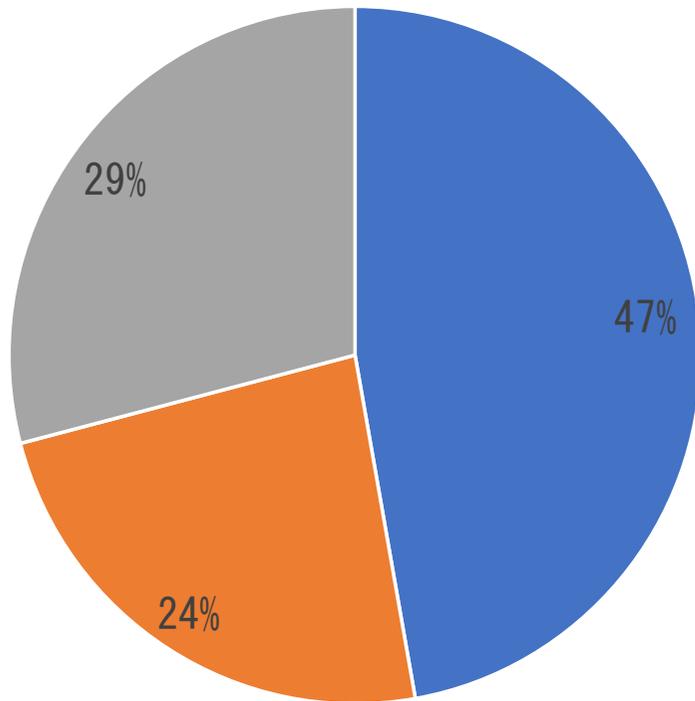
■ はい ■ いいえ ■ わからない

Q53 男性以外の教職員は、男性の同僚に比べて講義や委員会や他の義務的な仕事により多く振り分けられていると思いますか。 図28



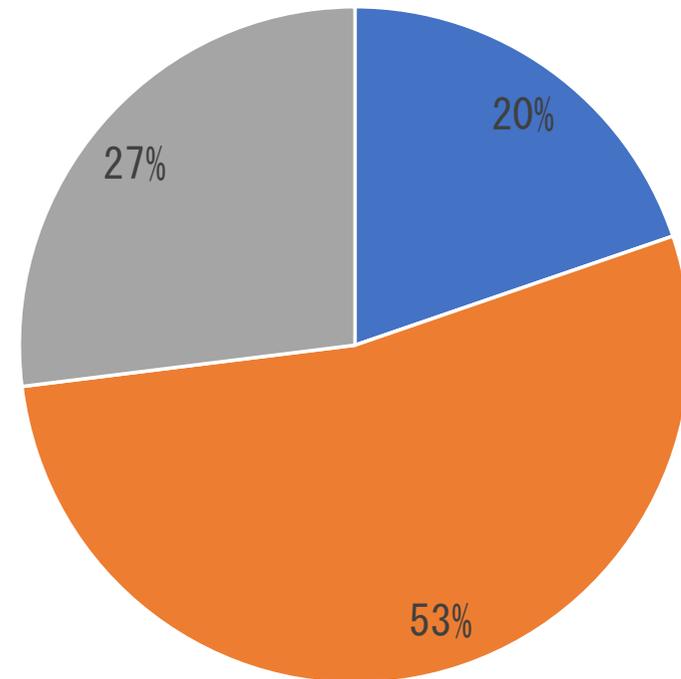
Q54 昇進の際、同等の学歴・経験が有るのにもかかわらず、優先的に男性が任命されることが有ると思いますか。 図29

女性



■ はい ■ いいえ ■ わからない

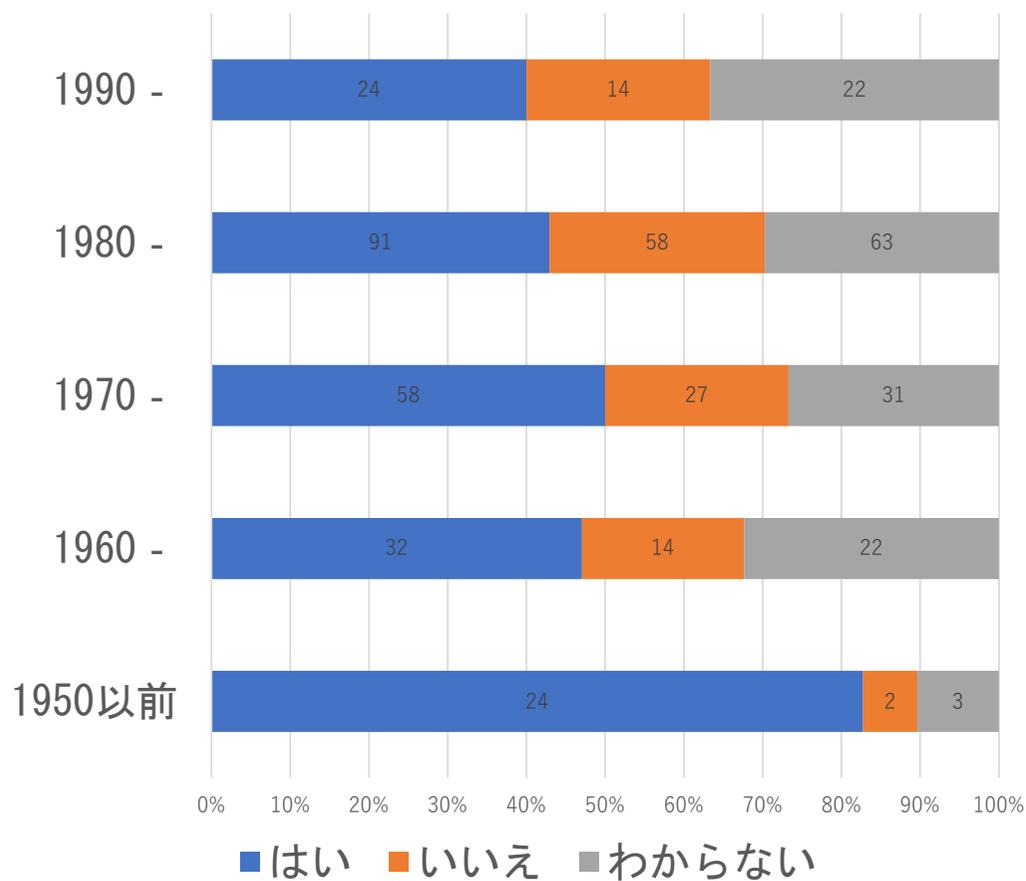
男性



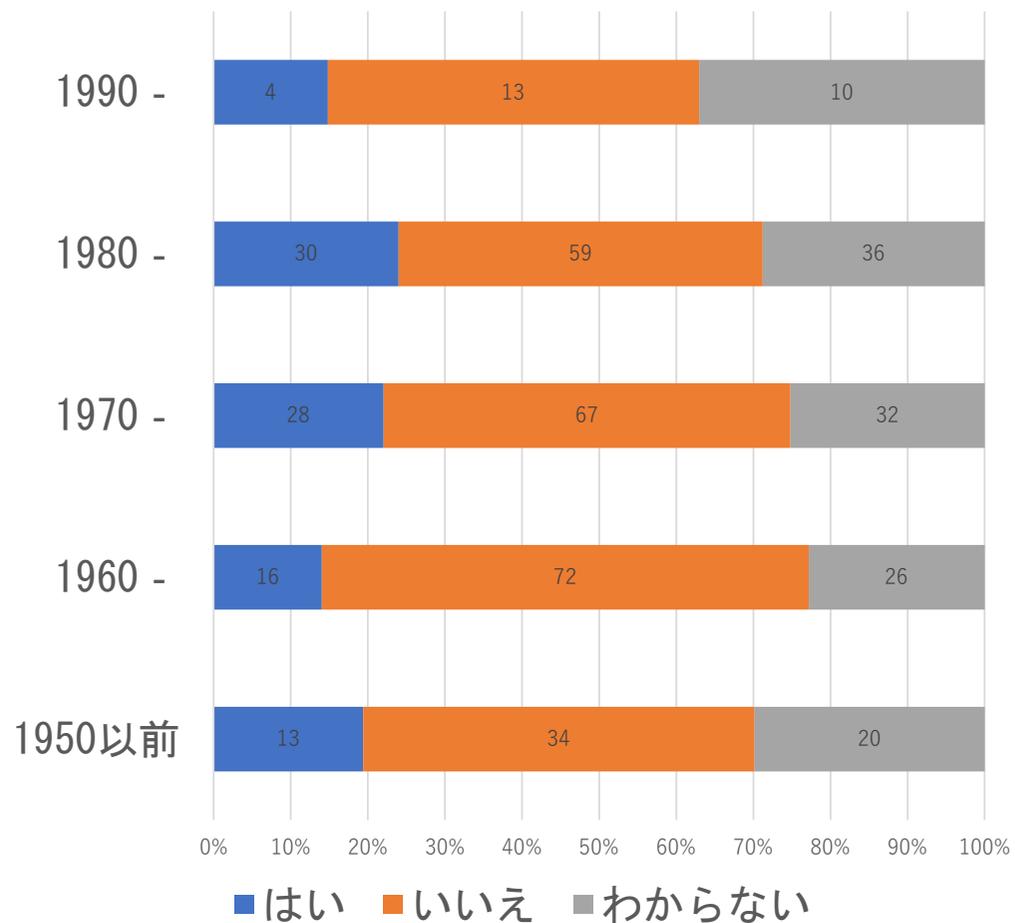
■ はい ■ いいえ ■ わからない

Q54 昇進の際、同等の学歴・経験が有るのにもかかわらず、優先的に男性が任命されることが有ると思いますか。 図30

女性

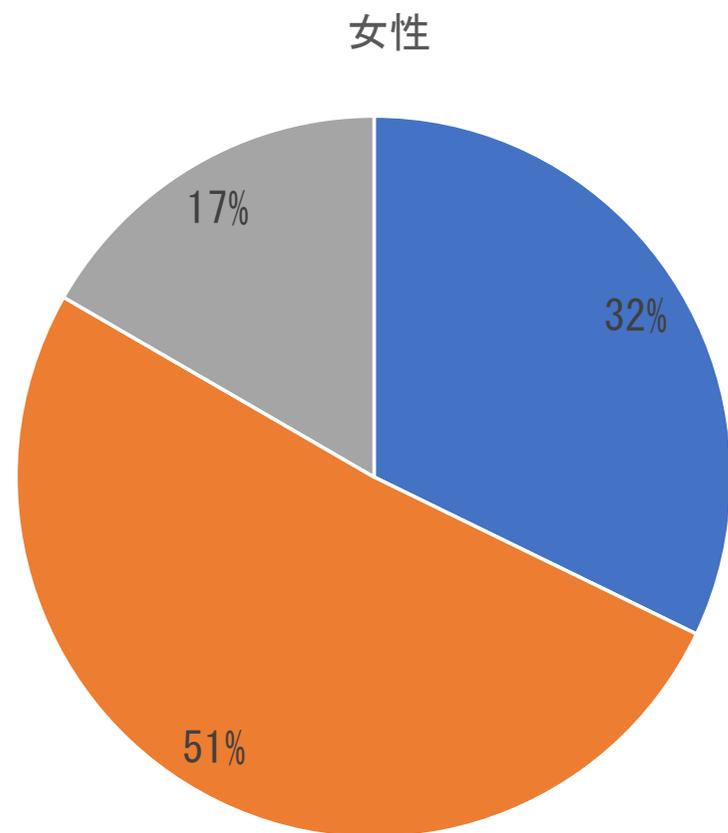


男性

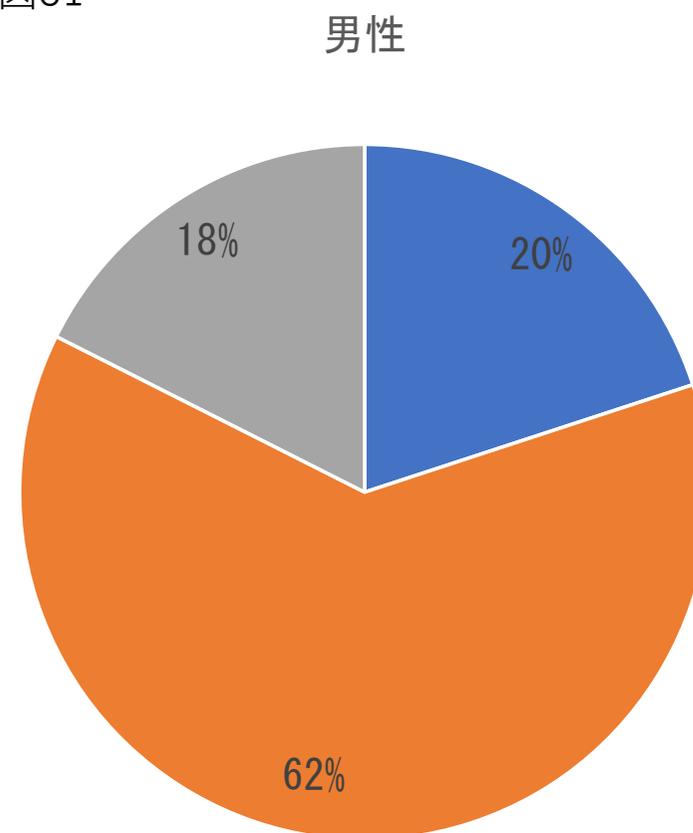


Q55 あなたの職場環境には、性差別主義的な態度や発言が有りますか。図31

図31



■ はい ■ いいえ ■ わからない



■ はい ■ いいえ ■ わからない

Q55 あなたの職場環境には、性差別主義的な態度や発言が有りますか。

図32

